2-023-207-**04**(1)

フラットパネルカラーテレビ取扱説明書

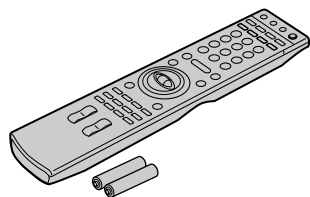
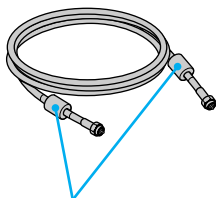
KE-P32TC2
KE-P37TC2

お買い上げいただきありがとうございます。

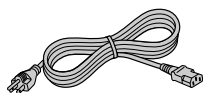
⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

付属品

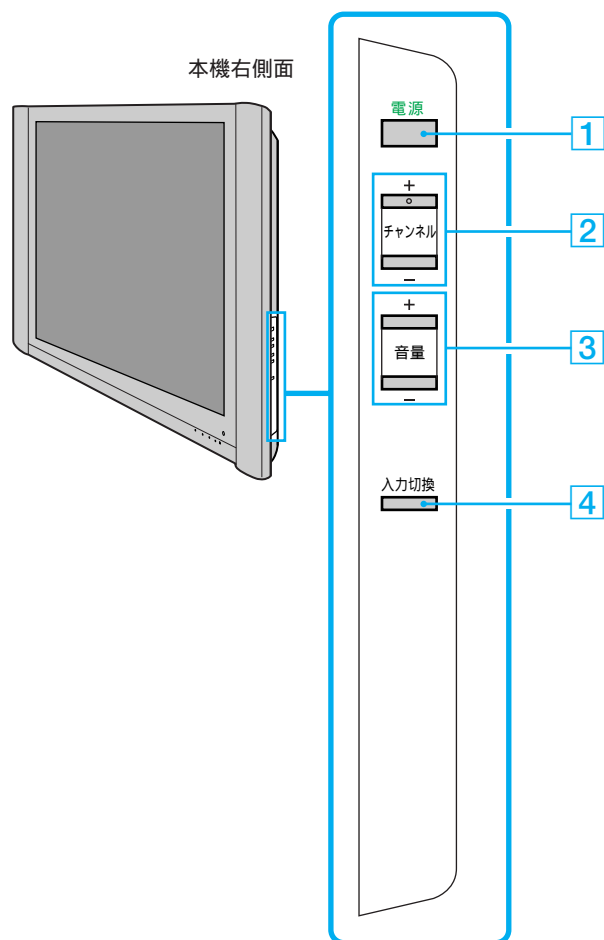
リモコン（1個）と単3形乾電池（2個）

VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル（1本）

アンテナ変換アダプター（1個）

電源コード（1本）

変換プラグアダプター（1個）

クリーニングクロス（1枚）

取扱説明書
保証書
ソニーご相談窓口のご案内
安全のために
（各1部）

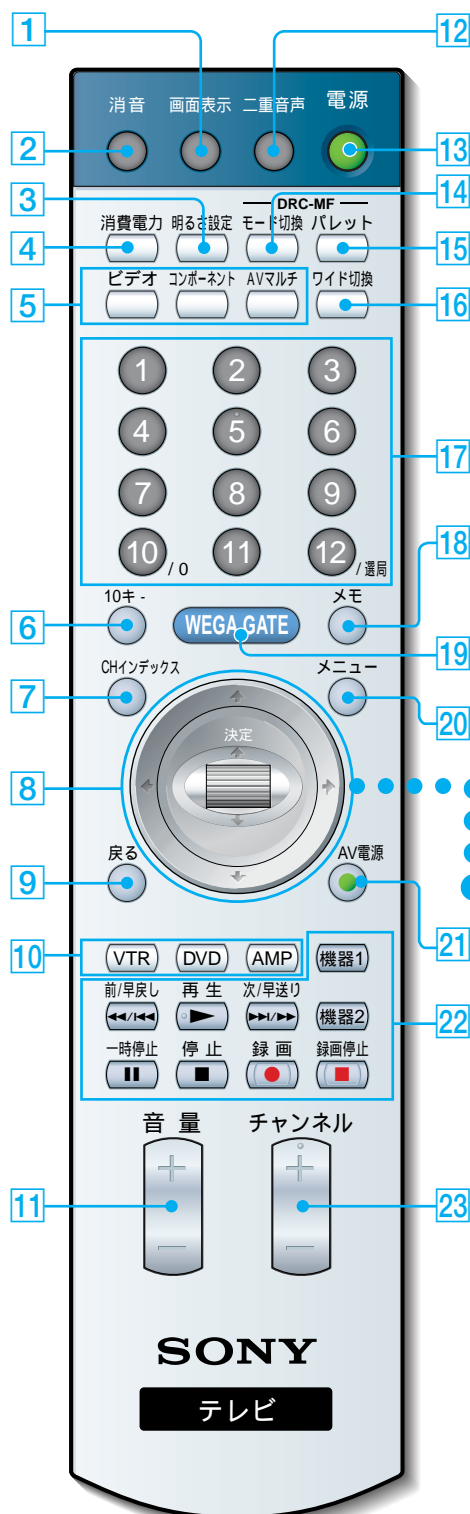
本体操作ボタン

1 **電源スイッチ（☞9ページ）**
2 **チャンネル＋/−ボタン*1（☞9ページ）**
3 **音量＋/−ボタン（☞8ページ）**
4 **入力切換ボタン*2（☞14ページ）**

*1 チャンネル＋ボタンの上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

*2 入力切換ボタンをくり返し押すと、入力が次のように切り換わります。

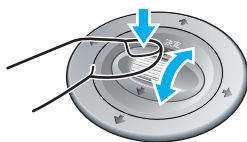
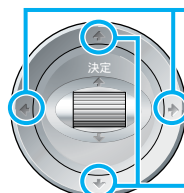
テレビ放送 → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3
↑ ↓
AVマルチ Y/CB/CR ← AVマルチ RGB ← コンポーネント2（D端子） ← コンポーネント1

この取扱説明書の本体イラストは、KE-P32TC2を使っています。

リモコン操作ボタン

1 画面表示ボタン（☞8、33ページ）
2 消音ボタン（☞8ページ）
3 明るさ設定ボタン（☞27、29ページ）
4 消費電力ボタン（☞7、26ページ）
5 入力切換用ボタン（☞14、15ページ）
　ビデオボタン
　コンポーネントボタン
　AVマルチボタン
6 10キーボタン（☞8ページ）
7 CHインデックスボタン（☞11ページ）
8 ジョグダイヤル/↑/↓/←/→選択（☞3ページ）
9 戻るボタン（☞17ページ）
10 他機器選択用ボタン（☞18ページ）
　VTRボタン
　DVDボタン
　AMPボタン
11 音量+/−ボタン（☞8ページ）
12 二重音声ボタン*（☞10ページ）
13 電源スイッチ
14 DRC-MFモード切換ボタン（☞28ページ）
15 DRC-MFパレットボタン（☞29ページ）
16 ワイド切換ボタン（☞34ページ）
17 数字ボタン*（☞8、18ページ）
18 メモボタン（☞13ページ）
19 WEGA GATE（ベガゲート）ボタン（☞6ページ）
20 メニューボタン（☞3ページ）
21 AV電源ボタン（☞18ページ）
22 他機器操作ボタン*（☞18~23ページ）
23 チャンネル+/−ボタン*（☞8ページ）

*の付いたボタンの上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

このページを開いたままにして、ボタンの位置などを確認しながら本機を操作すると便利です。

リモコンジョグダイヤルの使いかた

回して選び、押して決定します。
本文中では▤、▤で表示しています。

左右の項目はここを押して選びます。

上下の項目はここを押しても選べます。

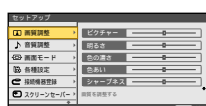
ジョグダイヤルでメニューを操作してみましょう。

（例：「セットアップ」メニュー選択）

1 メニューボタンを押す。

2 ▤で「セットアップ」を選んで、▤で決定する。

回して選び

押して決定

引きつづき▤で選び、▤で決定して次の操作に進みます。

目次

取扱説明書の中の画面はイメージです。実際の画面表示とは異なることがあります。

テレビの接続と準備

他機との接続

その他

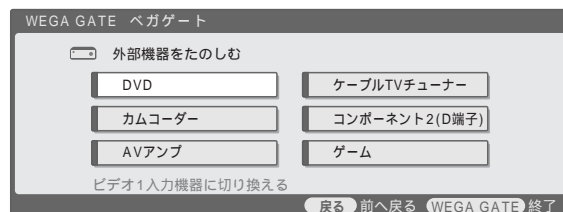
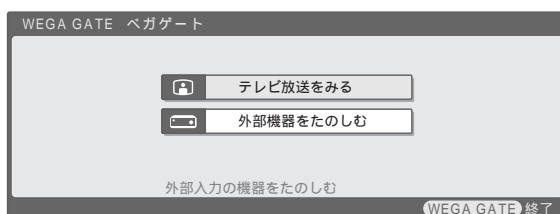
WEGA GATE（ベガゲート）で選ぶ

<ベガ>への入り口

WEGA GATE <ベガゲート>

ご覧になりたい放送や外部機器の映像まで、スマートにご案内いたします。

— <WEGA GATE>ボタンを押すと —

つないだ機器を登録しておけば、機器名が一覧で表示されます。あとは、お好きな機器を選ぶだけ！

まずは接続準備から

テレビの接続と準備/他機との接続 .... ☞40、52ページ

<ベガゲート>をお客様に合わせた設定に

入力切換時に接続機器名を表示させる［接続機器登録］（ビデオラベル）.... ☞17ページ

テレビのリモコンでつないだ機器の操作を可能に

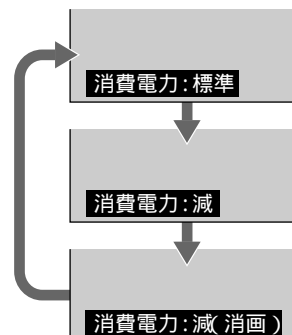
本機のリモコンで他機器を操作する .... ☞18ページ

本機の省エネ対応について

本機では、通常時の消費電力量を、設定によって抑えたり、しばらく何も操作をしなかったときなどに自動で電源が切れるようにするなど、省エネに対応しています。

消費電力（リモコン）（☞26ページ）

リモコンの消費電力ボタン（☞26ページ）を押すたびに、右のように切り換わり、消費電力を軽減できます。
また、メニューの「消費電力減レベル」*1を設定すれば（☞26ページ）、さらに消費電力を抑えられます。
接続している機器の音楽を聴いてお楽しみになるときは、消画モード（☞26ページ）にすれば、画面を消して音声のみにすることができます。

*1 「セットアップ」→「各種設定」→「消費電力減レベル」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

オートシャットオフ

約9分間、無信号を検出すると「オートシャットオフ」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイになります。深夜などの放送終了後には、自動で電源スタンバイになります。

無操作電源オフ（☞26ページ）

メニューの「無操作電源オフ」*2を「1時間」または「2時間」、「3時間」に設定すると、チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作をしなかったときは、「無操作電源オフにより、まもなく電源が切れます」と表示され、その1分後に電源が自動で切れます。お買い上げ時の設定は、「切」になっています。

*2 「セットアップ」→「各種設定」→「無操作電源オフ」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

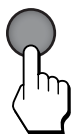
オフタイマー（☞9ページ）

見ている番組の終了時刻などに合わせて、自動的にテレビの電源を切るように設定できます。設定できる時間は30分、60分、90分、120分後です。設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れ、電源スタンバイになります。

テレビを見るときの基本操作

一時的に音を消す

電話がかかってきたときなど、テレビの音量が気になるときに、押すだけで音を消せます。

消音

押す。
（もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出る。）

チャンネル番号などを確認する

画面表示

押す。
（もう1度押すと消える。）

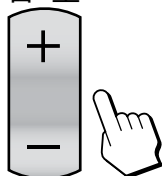
ステレオ放送のとき　チャンネル番号

画面モード（☞34ページ）

ちょっと一言

画面表示は、画面表示ボタンを押したあと、約5秒後に自動的に消えます。

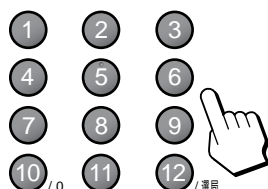
音量を調節する

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

選局用のボタンで電源も入れる［チャンネルポン］

スタンバイランプが赤く点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル＋/－ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります 。

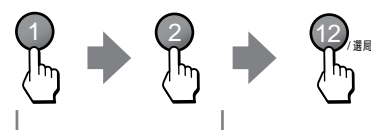
チャンネルを選局する

選局方法は3通りあります。
チャンネルの設定や変更をするには、
☞44ページをご覧ください。

ワンタッチ選局

リモコンの数字ボタンに登録されているチャンネルが選局される。

10キー選局

10キーボタンのあと、数字ボタンでチャンネル表示番号（☞48ページ）を押します。

例：12チャンネルを選局する

押せばすぐに切り換わり、押さなくても約3秒後に切り換わる。

十の位から順に押す。

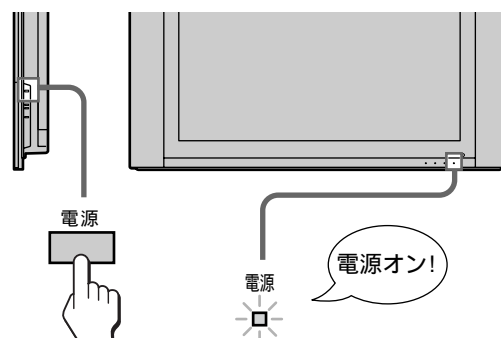
ちょっと一言
チャンネル番号が1桁のチャンネルを選局するときは、十の位を省略して入力することもできます。
例：1チャンネルを選局する
10キーボタン → ① → ⑫

順送り選局

チャンネル

押し続けると、チャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映る。

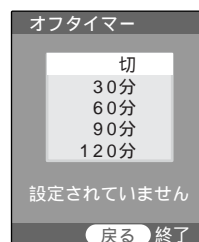
リモコンで電源が入らないときは

本体の電源スイッチを押します。

自動で電源を切る［オフタイマー］

本機をつけたままでも、設定した時間（30分、60分、90分または120分）が過ぎると、自動的に電源が切れ、電源スタンバイ（スタンバイランプが赤く点灯）になります。
お買い上げ時は、「切」に設定されています。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

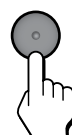
2 **で「画質/各種切換」を選んで、決定で決定する。**

3 **で「オフタイマー」を選んで、決定で決定する。**

4 **で設定したい時間を選んで、決定で決定する。**
本機前面のオフタイマーランプが点灯します。

5 **戻るボタンを押して、設定画面を消す。**

オフタイマーを途中でやめるには
手順4で「切」を選ぶか、電源を入れ直す。

音声を切り換える
[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	両方とも主音声	
副	両方とも副音声	
主/副	主音声	副音声

現在放送中のチャンネルを一覧で見る [CHインデックスボタン]

現在放送中のテレビのチャンネルを一覧表示できます。
一覧表示したCHインデックスから、お好みのチャンネルを選べます。

現在放送中のテレビ放送を一覧で見る

現在選んでいるチャンネルから順に表示され、順に更新されていきます。

他の方法でも表示できます
メニューから
「マルチ画面」→「CHインデックス入/切」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ちょっと一言
放送のないチャンネルをとばして一覧表示させることもできます。詳しくは、「スキップ設定で放送のないチャンネルをとばす」(☞49ページ)をご覧ください。

次のページにつづく

CHインデックスからお好みのチャンネルを選ぶ

1 CHインデックスボタンを押す。

現在放送中のチャンネルが順に表示され、すべての表示が終わると、はじめの画面から最新の状態に自動更新されていきます。

2 ▲▼/◀/▶でチャンネルを選んで、決定で決定する。

自動更新が止まり、選んだチャンネルの映像/音声を視聴できます。

3 決定で決定する。

選んだチャンネルの画面になります。

手順2のあと、戻るボタンを押すと

自動更新を再開します。

メモするために画面を静止させる [メモボタン]

視聴者プレゼントの応募先や料理の材料など、メモしたい場面を静止させることができます。

ビデオやDVDなどの映像を見る

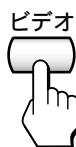
入力を切り換えて、本機につないだビデオ機器やDVDプレーヤー、地上・BS・110度CSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの映像を見ることができます。接続のしかたについては、☞52〜67ページをご覧ください。

ビデオやDVDなどの映像を見る

つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

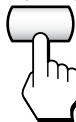
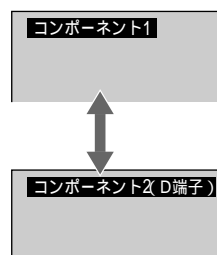
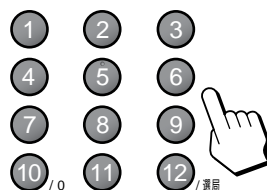
ビデオ

1回押すと、最後に見ていた入力に切り換わり、そのあと押すたびに次のように切り換わる。

ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ1

ちょっと一言
S2映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」〜「Sビデオ3」と表示されます。

コンポーネント

1回押すと、最後に見ていた入力に切り換わり、そのあと押すたびに次のように切り換わる。

コンポーネント1 ↔ コンポーネント2(D端子)

テレビ放送の画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを押す。

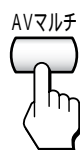
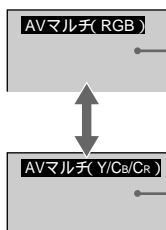
ちょっと一言

- 機器をつながない端子があるときなどに、入力をとばす設定ができます。詳しくは、「入力切換時に接続機器名を表示させる［接続機器登録］（ビデオラベル）」（☞17ページ）をご覧ください。
- 本機につないだ機器の映像を見ているときに、チャンネル+/−ボタンを押すと最後に見ていたチャンネルになります。
- 本体の入力切換ボタンをくり返し押しても、次の順で切り換えられます。

最後に見ていたチャンネル → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → コンポーネント1 → コンポーネント2（D端子）→ AVマルチ RGB → AVマルチ Y/CB/CR → 最後に見ていたチャンネル

“ プレイステーション 2 ” などを楽しむ

“ プレイステーション 2 ”などを楽しむ

“ プレイステーション 2 ”、
“ プレイステーション ”(PS one) および
“ プレイステーション ”の取扱説明書もご覧ください。

1回押すと、最後に見ていた入力に切り換わり、そのあと押すたびに次のように切り換わる。

- “ プレイステーション ”(PS one) と “ プレイステーション ”のときに選ぶ。
- “ プレイステーション 2 ”側のシステム設定画面で、「コンポーネント映像出力」を「RGB」に設定したときに選ぶ。

“ プレイステーション 2 ”側のシステム設定画面で、「コンポーネント映像出力」を「Y CB/PB CR/PR」に設定したときに選ぶ。

ビデオ入力端子につないだときは

“ プレイステーション 2 ”などの映像が出るまで、ビデオボタンをくり返し押す。

テレビにつないだ機器の映像を見る

ご注意

- “ プレイステーション 2 ”で映像が乱れたり、正しく表示されないときは、“ プレイステーション 2 ”側の設定に本機側のAVマルチ入力を合わせてください。
- つないだ機器の映像によっては、DRC-MFモード切換やDRC-MFパレット（☞28～29ページ）が働かないことがあります。

対応ソフトウェアについて

詳しくは、各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

- 電子的なライフルやガン（銃）でテレビ画面を標的にして楽しむシューティングゲームなどは、その機能を使えないことがあります。
- 将来の“ プレイステーション 2 ”用の高解像度ゲームソフトなどには、本機は対応していません。
- “ プレイステーション ”(PS one) や“ プレイステーション ”用のゲームソフトによっては、CGゲームモード（☞16ページ）を切り換えられないことがあります。
- ゲームソフトによっては、動きの早いシーンなどで反応が遅くなることがあります。
- ソフトウェアの信号によって、AVマルチRGBとAVマルチY/CB/CRの映像信号に適さないものがあります。

次のページにつづく

“プレイステーション 2”などを楽しむ（つづき）

CG*ゲームモードの設定をするには（AVマルチ入力のみ）

* コンピューター・グラフィックスの略です。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、で決定する。**

3 **で「各種設定」を選んで、で決定する。**

4 **で「CGゲームモード」を選んで、で決定する。**

5 **現在のAVマルチ入力（「RGB」または「Y/CB/CR」）が選ばれていることを確認し、で決定する。**

6 **で「入」か「切」を選んで、で決定する。**

「入」：CGの多いゲームに適した映像を楽しめます。

「切」：DVDの映画などの自然画に適した映像を楽しめます。

7 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

画面の左右位置を調整するには（AVマルチ入力のみ）

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、で決定する。**

3 **で「各種設定」を選んで、で決定する。**

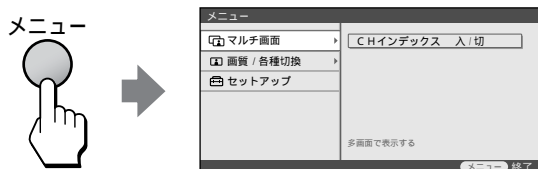
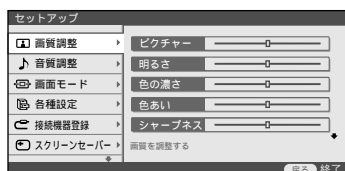
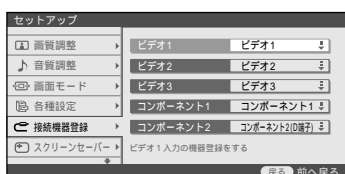
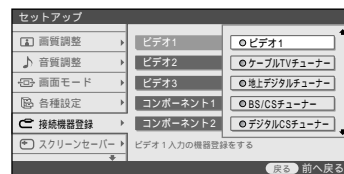
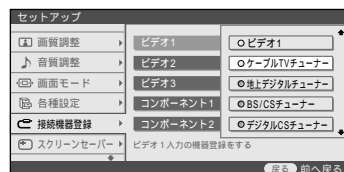
4 **で「AVマルチ画面位置」を選んで、で決定する。**

5 **で画面の左右位置を調整する。**

6 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

入力切換時に接続機器名を表示させる［接続機器登録］（ビデオラベル）

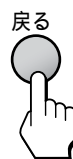
WEGA GATEや、入力を切り換えたとき画面左上に、つないだ機器の名前を表示させる設定ができます。また、機器をつながない端子があるときは、入力をとばす設定もできます。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、で決定する。**

3 **で「接続機器登録」を選んで、で決定する。**

4 **で登録したい端子名を選んで、で決定する。**

5 **で画面に表示するつないだ機器の名前（ビデオラベル）を選んで、で決定する。**

ビデオラベルを「使用しない」に設定すると

－入力切換時にその入力をとばすことができます。

－WEGA GATEの外部機器一覧には表示されません。

6 **他の端子も登録するときは、戻るボタンを押して端子名選択に戻り、手順4と5をくり返す。**

7 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

ご注意

ビデオラベルをいったん「使用しない」に設定した接続端子に、あらたに外部機器をつないでも、つないだ機器の映像は出ません。再度、接続機器登録を行い、ビデオラベルを設定し直してください。

本機のリモコンで他機器を操作する

本機のリモコンで、本機につないだ機器の基本的な操作ができます。あらかじめつないだ機器を登録します。

本機のリモコンで操作できる機器

- ビデオ
- DVDプレーヤー/DVDレコーダー
- ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機
- DVD一体型ビデオ
- ソニー製ハードディスクビデオレコーダー/チャンネルサーバー
- ソニー製ブルーレイディスクレコーダー
- ソニー製AVアンプ

ちょっと一言

- VTRボタン、DVDボタン、AMPボタンには機器の種類を限定することなく、すべての機器を登録できます。

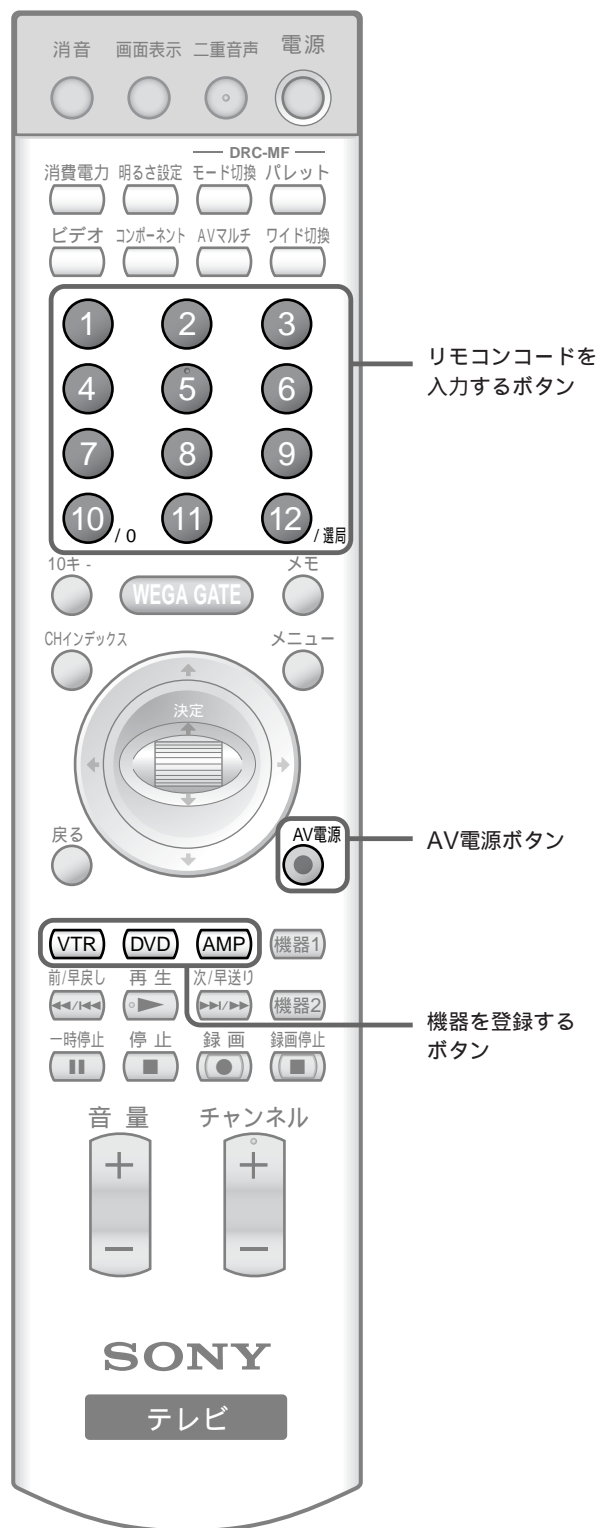
  例：VTRボタンにソニー製のビデオ（リモコンコード001）を設定し、DVDボタンに松下製ビデオ（リモコンコード011）を設定するなど。

- コントロールS入力端子のあるソニー製機器を、本機のコントロールS出力端子につないでいるときは（☞24ページ）、リモコンコードを登録しなくても、それぞれの機器のリモコンを本機に向けて、機器を操作できます。

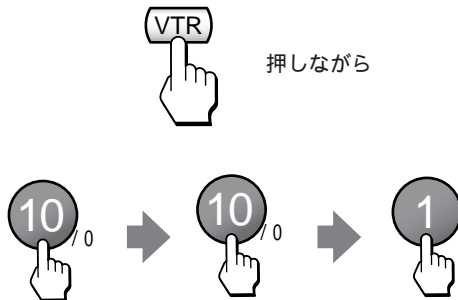
本機につないだ機器を登録する

ここでは例として、ビデオとDVD一体型ビデオを登録する手順を説明します。

例1：ソニー製ビデオをVTRボタンに登録する

例2：ソニー製DVD一体型ビデオをDVDボタンに登録する

1 リモコンコードを入力する。

リモコンコードは☞20ページの「リモコンコード表」で確認してください。

例1：ソニー製ビデオ（リモコンコード001）

例2：ソニー製DVD一体型ビデオ（リモコンコード201）

リモコンコード表（☞20ページ）にないリモコンコードを入力すると、VTRボタンまたはDVDボタンが2秒間点滅します。手順1をもう1度行って正しいリモコンコードを入力し直してください。

ご注意

VTRボタン、DVDボタン、AMPボタンには機器を1台づつ登録できます。2台目の機器を登録すると、1台目の登録は取り消されます。

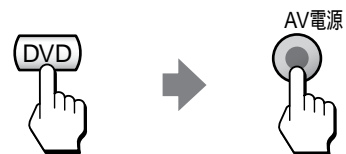
ちょっと一言

リモコンコードを入力するときは、リモコンの前の部分（リモコン発光部）を手で隠すと、間違えてボタンを押しても本機が動作しないので安心です。

2 動作テストをする。

登録した機器の電源が入るかを確認して動作テストをします。

例1：ソニー製ビデオ

例2：ソニー製DVD一体型ビデオ

登録する機器のリモコンコードが複数あるときは、手順1と2をくり返して、機器が操作できるまで別のリモコンコードを登録し直してください。

ご注意

ソニー以外のメーカーの複合機器を登録するときは、AV電源ボタンを押す前に機器1ボタンを押さないと電源が入らないものもあります。

リモコンコードを登録しても操作できないときは

リモコンコードを正しく入力していても、機器によっては操作できないものもあります。そのような場合はそれぞれの機器に付属のリモコンで操作してください。

次のページにつづく

本機のリモコンで他機器を操作する（つづき）

リモコンコード表

メーカー	ビデオ	DVDプレーヤー	DVD一体型ビデオ	ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機/DVDレコーダー
ソニー	001 002 003 004 005 006	101	201	305 306 307 308
松下	010 011 012 013 014	102		401 402 403
東芝	015 016 017 018	103		404 405
日立	019 020 021 022	104	202	
三菱	023 024 025 026	105		
日本ビクター	027 028 029 030 031 032	106	203 204 205 206	
サンヨー	033 034 035 036		207	
アイワ*1	037 038 039 040	107	208	
シャープ	041 042 043	108		
フナイ	044		209	
NEC	045 046 047 048			
パイオニア		109*2 110*2		406 407 408
フィリップス		111		
RCA		112		
デノン		113 114		
ヤマハ		115		
SAMSUNG		116	210	
オンキョー		117		

メーカー	ハードディスクレコーダー	ブルーレイディスクレコーダー	AVアンプ
ソニー	301 302 303 304	501 502 503	601 602 603 604

*1 アイワのリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニーのリモコンコードを登録してください。

*2 これらのDVDプレーヤーを登録するときは、☞19ページの手順2でDVDプレーヤーの電源が入っても、再生などの操作ができないことがあります。そのときは、もう一方のリモコンコードを設定し直してください。

ご注意

- DVDプレーヤー内蔵のソニー製AVアンプは、機種によってはDVDプレーヤーをDVDボタンに、AVアンプをAMPボタンに別々に登録しなくてはならないものがあります。
- リモコンの電池を取り出したり、電池を使いきると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう1度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、それぞれの機器のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンでは、機器の基本的な操作ができますが、機器によっては操作できない機能があります。そのような場合にはそれぞれの機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が機器にない場合は、そのボタンは働きません。

本機のリモコンで、本機につないだ機器を操作する

1 機器に必要な準備をする。

機器の電源コードをつなぐなどの準備をしてください。

2 操作する機器を登録したボタンを押す。

押したボタンが約30秒間点灯します。
押したボタンが点灯している間のみ、機器を操作でき、機器を操作するたびに、さらに30秒間延長します。

または

または

ボタンが消灯してしまったときは、もう1度ボタンを押す。

ちょっと一言

ボタンが点灯中に次のようにすると、ボタンは消灯します。消灯させることにより、電池の消耗を抑えられます。
－ 点灯中のボタンをもう1度押す
－ 機器を操作できるボタン以外のボタンを押す

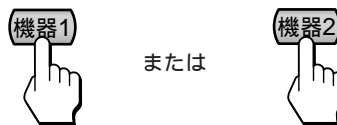
DVD一体型ビデオなどの複合機器を操作するときは、

手順3に進んでください。

複合機器以外の機器を操作するときは

手順4に進んでください。

3 機器1ボタンまたは機器2ボタンを押して、操作する機器を切り換える。

または

DVD一体型ビデオのときは

機器1ボタン：ビデオを操作できます。
機器2ボタン：DVDを操作できます。

ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機のときは

機器1ボタン：DVDを操作できます。
機器2ボタン：ハードディスクレコーダーを操作できます。

複合機器によっては、機器1または機器2ボタンで操作できる機器が上記と逆になることがあります。

ご注意

複合機器によっては、機器1または機器2ボタンを押しても、操作できる機器を切り換えられないものがあります。そのような場合は機器に付属のリモコンで操作してください。

4 リモコンを機器に向けて操作する。

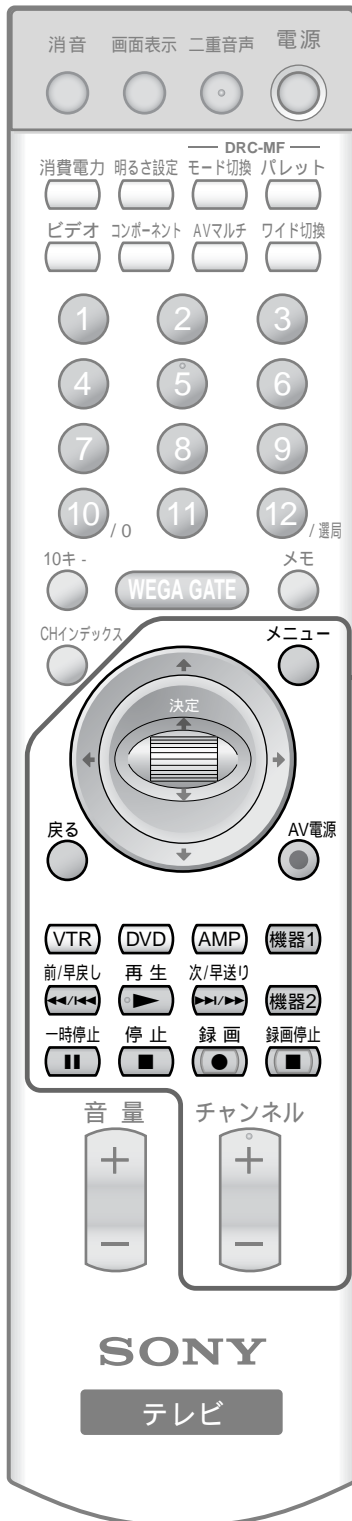
機器を登録したボタンが点灯中に操作ができます。

ちょっと一言

操作する機器のコントロールS入力端子と本機のコントロールS出力端子をつないでいるときは（☞24ページ）、リモコンを本機に向けて、機器を操作できます。

テレビにつないだ機器の映像を見る

次のページにつづく

本機のリモコンで他機器を操作する（つづき）

機器を操作できるボタン

機器*を操作できるボタン

ボタン	説明
AV電源	電源を入/切する。
前/早戻し	**ビデオのときは** ー 停止中に押すと、巻戻しする。 ー 再生中に長押しすると、押しているあいだ巻戻し再生をする。 **DVD、ハードディスクレコーダーのときは** ー 停止中に押すと、前方向の頭出しをする。 ー 再生中に長押しすると、押しているあいだ早戻し再生をする。 ー 再生中に短く押すと、前方向の頭出しをする。
再 生	再生する。
次/早送り	**ビデオのときは** ー 停止中に押すと、早送りする。 ー 再生中に長押しすると、押しているあいだ早送り再生をする。 **DVD、ハードディスクレコーダーのときは** ー 停止中に押すと、後方向の頭出しをする。 ー 再生中に長押しすると、押しているあいだ早送り再生をする。 ー 再生中に短く押すと、後方向の頭出しをする。
一時停止	一時停止する。
停 止	再生、早送り、早戻しを停止する。
録 画	録画する。
録画停止	録画を停止する。
チャンネル	**ビデオ、ハードディスクレコーダーのときは** ビデオ、ハードディスクレコーダーに内蔵されているテレビチューナーのチャンネルを切り換える。

* ビデオ、DVDプレーヤー/レコーダー、DVD一体型ビデオ、ハードディスクレコーダー・DVDレコーダー複合機、ソニー製ハードディスクレコーダー/チャンネルサーバー、ソニー製ブルーレイディスクレコーダー

ソニー製のハードディスクレコーダー、チャンネルサーバー、ブルーレイディスクレコーダーのときは

さらに以下のボタンが使えます。

ボタン	説明
メニュー	メニューのある機器では、メニューを表示する/消す。
戻る	1つ前の画面に戻る。
	メニューのある機器では、メニューの項目を選んだり、決定したりする。

AVアンプを操作できるボタン

ボタン	説明
	↑/↓で音量を調節する。 でもできる。 →で消音にする。 ←でファンクションを切り換える。

ご注意

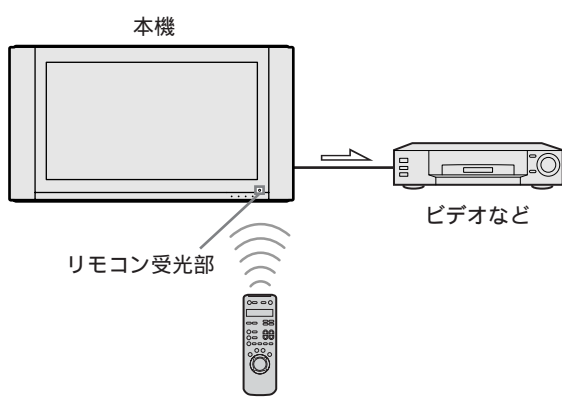
DVDボタン、VTRボタン、AMPボタンが点灯中のとき、操作する機器に次のボタンが割り当てられているときは、テレビを操作することはできません。

－ チャンネル＋/－ボタン
－ メニューボタン
－ 戻るボタン
－ 決定/↑/↓/←/→

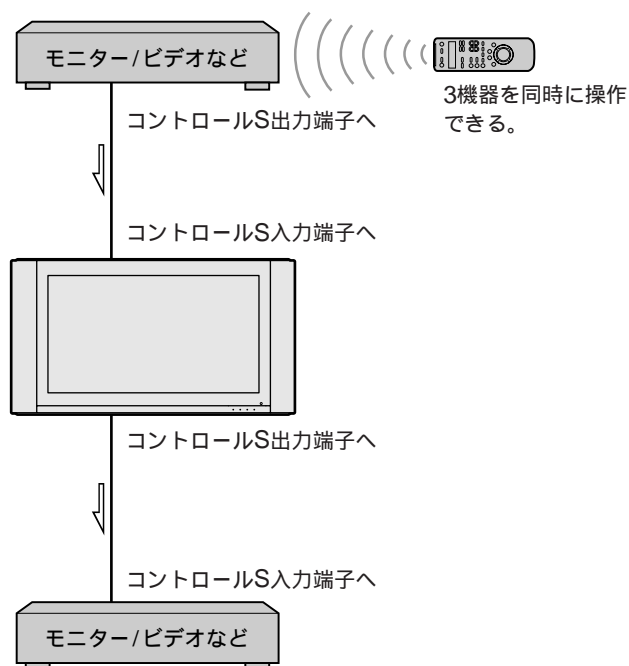
テレビにつないだ機器の映像を見る

コントロールSで他機器を操作する

ビデオなどを遠くから操作する

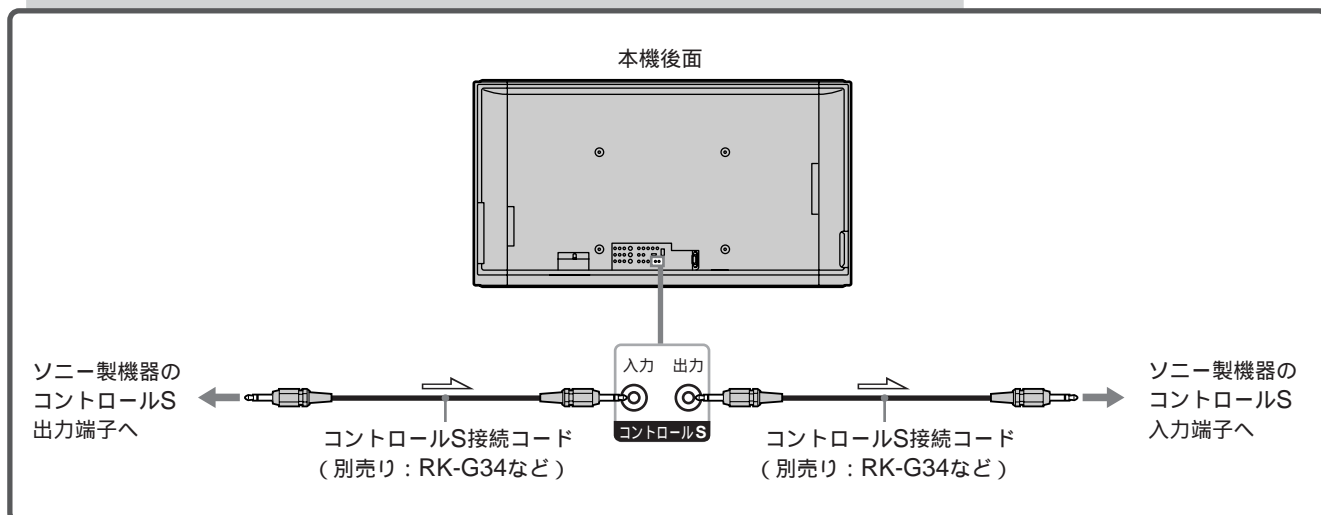
コントロールS入力端子のあるソニー製の機器を本機から離れた場所に設置したときなどは、本機のコントロールS出力端子と接続すれば、つないだ機器のリモコンを本機に向けて、機器を操作できます。

⟶ ：信号の流れ

複数の機器を同時に操作する

コントロールS端子のあるソニー製のモニターなどを何台もつないで、同時に操作できます。

⟶ ：信号の流れ

ご注意

- コントロールSで操作できるのはソニー製の機器のみです。
- テレビ本体の電源スイッチで電源を切っているときは、コントロールSで機器を操作することはできません。

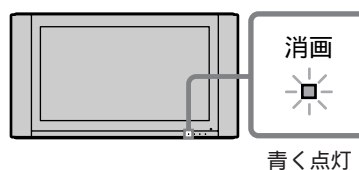
コントロールS接続コードでソニー製機器をつなぐ

映像を調整する

節電しながら見る/音だけを楽しむ［消費電力ボタン］

ちょっと一言

- 「消費電力：減」で電源を切ると、次に電源を入れても「消費電力：減」のままになります。
- 消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは「消費電力：標準」に戻ります。
- 画質調整（☞30ページ）で「ピクチャー」や「明るさ」を上げると、「消費電力：減」でも画面の明るさや節電効果が変わらない場合があります。

消画にすると

本機前面の消画ランプが青く点灯し、画面が黒くなり、やがて画面表示が消えます。

消画を解除するには

電源、音量＋/－、消音または二重音声以外のボタンを押す。

他の方法でも切り換えられます

メニューから

「セットアップ」→「各種設定」→「消費電力」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

「消費電力：減」のときにさらに節電するには

「セットアップ」メニューで「消費電力減レベル」を「大」にしてください。
「セットアップ」→「各種設定」→「消費電力減レベル」→「大」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

長時間操作しないときに自動的に電源を切るには

「セットアップ」メニューで「無操作電源オフ」を「1時間」または「2時間」、「3時間」にしてください。
「セットアップ」→「各種設定」→「無操作電源オフ」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ちょっと一言

省電力のため、放送終了後または放送のないチャンネルにしたままにすると、オートシャットオフ機能により自動的に電源スタンバイになります。放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないことがあります。

部屋の明るさに合った映像を選ぶ［明るさ設定ボタン］

放送や入力ごとに、別々に設定できます。
通常は「ホーム」をおすすめします。
また、「ホーム」と「AVプロ」を選べば、より細かい調整もできます（☞30ページ）。

1回押すと現在の設定が表示され、そのあと押すたびに切り換わる。

ダイナミック：**映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像（お買い上げ時の設定）。**

ホーム：**ご家庭での使用に合わせた標準的な映像。**

AVプロ：**輪郭強調とコントラストを抑え、DRC（☞28ページ）の性能をより引き出した、オリジナルにできるかぎり忠実な映像。**

他の方法でも切り換えられます
メニューから
「画質/各種切換」→「明るさ設定」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

次のページにつづく

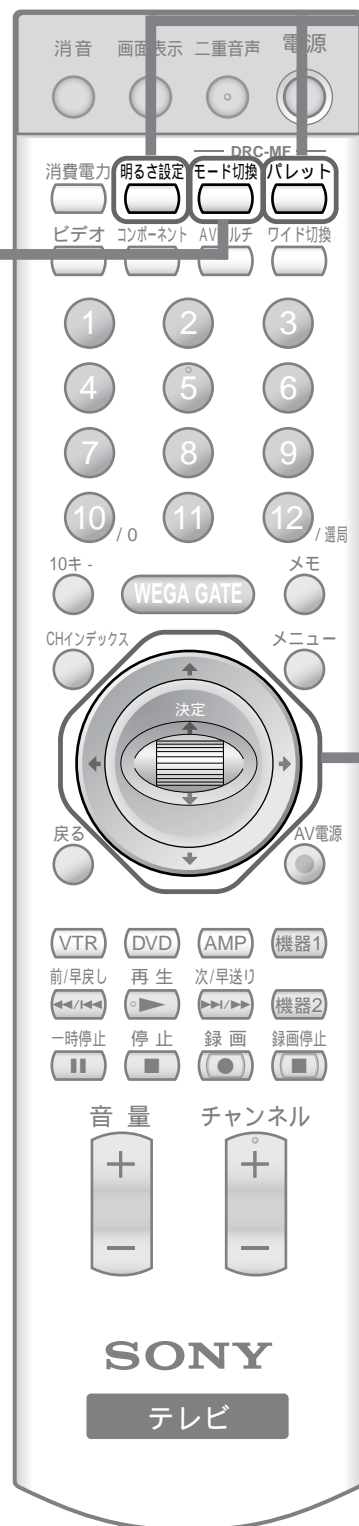
映像に合ったリアル高画質で見る［DRC-MFモード切換ボタン］

信号や入力によらず、共通の設定となります。
通常はお買い上げ時の設定「DRC高密度・標準」のままでご覧ください。

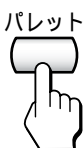
DRC高密度・標準
地上アナログやビデオ、デジタル放送の525i（480i）標準テレビ信号など、一般的な映像のとき。

DRC**プログレッシブ**[*1]
文字や画像、細かい横線が多い映像で、部分的な映像のゆれやチラツキが気になるとき。

他の方法でも切り換えられます
メニューから
「画質/各種切換」→「DRC-MFモード切換」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

*1　DRCプログレッシブとは、DRCというソニー独自のアルゴリズムを持ったデバイスへの表現方法です。最終的な表示方法はデバイスの特性によって異なります。

映像に合った好みの画質に調整する［DRC-MFパレットボタン］

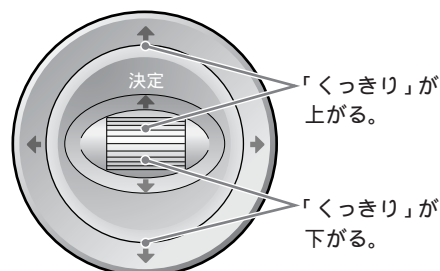
明るさ設定ボタンで「ホーム」または「AVプロ」を選ぶと、調整できます。
入力や明るさの設定などで別々に設定できます。

くり返し押して、「ホーム」または「AVプロ」を選ぶ。

押す。
（もう1度押すと、消える。）

映像の細部のリアル感を調整

決定

「くっきり」が上がる。

「くっきり」が下がる。

DRC-MFパレット

DRC−MFパレット
（地上アナログ）
[70]
くっきり
すっきり[80]
↑↓←→調整 戻る 終了

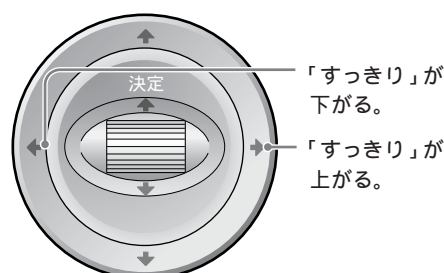
現在の状態

お買い上げ時の設定
（AVプロの場合）
「くっきり：25」
「すっきり：1」

映像のざらつき感（ノイズ）を調整

決定

「すっきり」が下がる。

「すっきり」が上がる。

ちょっと一言

- 受信状態の悪い地上アナログやレンタルビデオなどノイズが多いときは、「すっきり」を上げてください。
- DVDなどノイズが少ないときは、「すっきり」が「1」のままで充分に高画質な映像を楽しめます。

他の方法でも切り換えられます

メニューから

「画質/各種切換」→「DRC-MFパレット」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

映像と音声

DRC-MFって何？

本機搭載の高画質回路（デジタル・リアリティー・クリエーション：マルチ・ファンクション）で、地上アナログ放送やビデオ映像などの525i（480i）*2 標準テレビ信号をきめ細かくて質感のあるリアルな画質にします。

ご注意

以下のときは、DRC-MFモード切換やDRC-MFパレットの調整はできません。

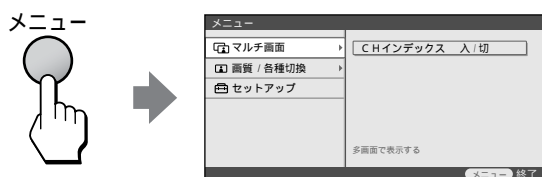
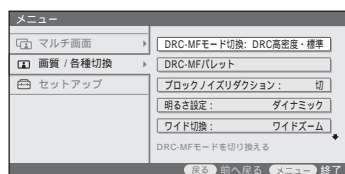
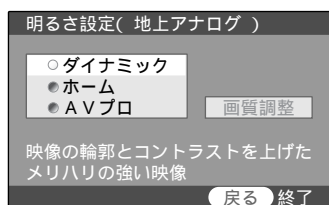
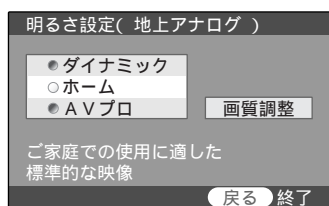
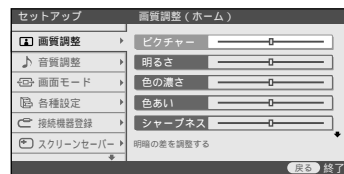
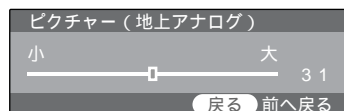
- 525i（480i）以外の信号のとき
- メモ画面
- CHインデックス
- AVマルチ入力でCGゲームモード（☞16ページ）が「入」のとき
- AVマルチ入力端子、コンポーネント1、2（D4映像）入力端子につないだ機器から525i（480i）以外の信号を受信しているとき

*2 詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞80ページ）をご覧ください。

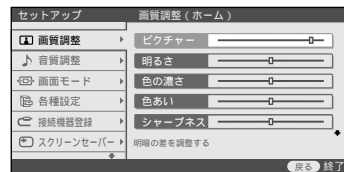
次のページにつづく

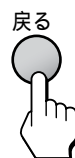
より細かく画質を調整する

放送や入力ごとに、別々に設定できます。

1 メニューボタンを押す。

2 で「画質／各種切換」を選んで、決定で決定する。

3 で「明るさ設定」を選んで、決定で決定する。

4 で「ホーム」または「AVプロ」を選んで、決定で決定する。

5 ➡で「画質調整」を選んで、決定で決定する。

6 で調整したい項目を選んで、決定で決定する。

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

7 /⬅/➡で調整して、決定で決定する。

8 他の項目を調整するときは、手順6と7をくり返す。

9 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

「ホーム」と「AVプロ」両方で調整できる項目

項目	←/↓を押すか を下に回すと	→/↑を押すか を上に回すと
ピクチャー	明暗の差が 小さくなる	明暗の差が 大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が 柔らかくなる	映像の輪郭が くっきりする

項目	説明
マイルド	輪郭強調を抑えて、デジタルノイズを軽減する

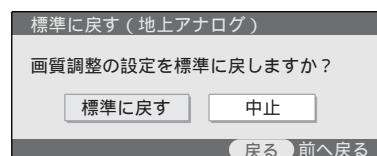
「AVプロ」でのみ調整できる項目

を下に回すと、以下の項目が調整できます。

項目	説明
NR（ノイズリダクション）	**通常は「切」（お買い上げ時の設定）にしておいてください*。** **「弱」、「中」、「強」**：映像のざらつきや色ノイズを軽減する（ゴーストなど電波障害は軽減されない）。 **「切」**（お買い上げ時の設定）：元の映像信号（処理していないオリジナル信号）の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがある。
色温度	**「4（高）」**から**「1（低）」**にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。
色温度調整	色温度を色ごとに細かく調整する。
Hホワイト（ハイパー）	白の鮮明さを強調する。
ディテール強調	映像の微細な部分を強調する。
色補正	美しく健康的な肌色を再現する。
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整する。

* オリジナル映像の種類によっては、「弱」または「中」、「強」のほうが、きれいに見えることがあります。

お買い上げ時の状態に戻すには

「より細かく画質を調整する」（☞30ページ）の手順6で「標準に戻す」を選んだあとで、さらに「標準に戻す」を選ぶ。

マス目状に映る画像を修正するには [BNR（ブロックノイズリダクション）]

マス目状に画面が乱れるときに補正し、ノイズを軽減します。
525iの信号を受信しているときに働きます。信号について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞80ページ）をご覧ください。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **で「画質／各種切換」を選んで、で決定する。**
3. **で「ブロックノイズリダクション」を選んで、で決定する。**
4. **で「弱」または「強」を選んで、で決定する。**
5. **戻るボタンを押して、設定画面を消す。**

映像と音声

次のページにつづく

映画フィルムをより忠実に再現するには

メニューの「シネマドライブ」を「オート」にすると、映画フィルムをより忠実でなめらかな動きのある映像に再現します。これは、映画フィルムの信号の規則性を自動的に識別し、最適な信号処理を行うためです。

ちょっと一言

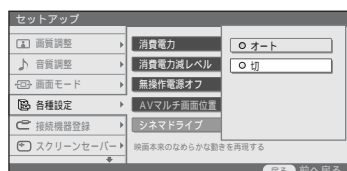
シネマドライブは525i*の信号のときに働きます。

* 信号について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞80ページ）をご覧ください。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。**

3 **で「各種設定」を選んで、決定で決定する。**

4 **で「シネマドライブ」を選んで、決定で決定する。**

5 **で「オート」か「切」を選んで、決定で決定する。**

「オート」：映画フィルムをより忠実に再現します。

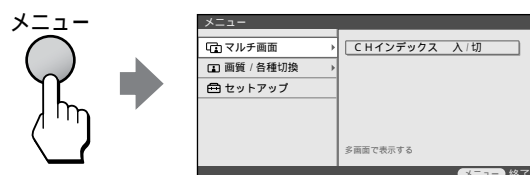
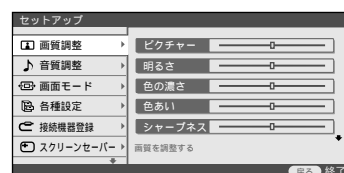
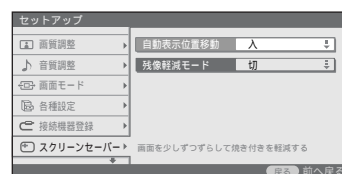
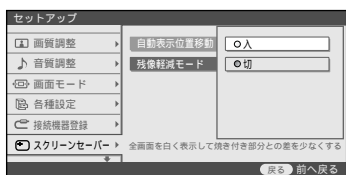
「切」：シネマドライブを解除します。

6 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

画面の焼き付きや残像を軽減する［スクリーンセーバー］

一定時間同じ画面を表示し続けると、画面の一部に焼き付き（残像）が発生することがあります。

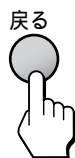
下記の操作を行って、画面の焼き付きの発生を軽減したり、一度焼き付いてしまった残像を軽減させてください。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。**

3 **で「スクリーンセーバー」を選んで、決定で決定する。**

4 で「自動表示位置移動」または「残像軽減モード」を選んで、決定で決定する。

「自動表示位置移動」： 画面表示の位置を少しずつずらして焼き付きの発生を軽減する。

「残像軽減モード」：全画面を白く表示して、すでに焼き付きが発生している部分との差を小さくする。

5 で「入」を選んで、決定で決定する。

6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

手順4で「残像軽減モード」を選び、手順5で「入」にすると、画面全体が白くなり、約30分後に自動的に通常の画面に戻ります。

「残像軽減モード」をやめて通常の画面に戻すには

電源、音量＋/ー、消音または二重音声ボタン以外のボタンを押す。

さらに焼き付きを軽減したいときは

「残像軽減モード」をくり返し行ってください。ただし、焼き付きは完全には消えません。

ちょっと一言

「自動表示位置移動：入」のときに画面表示の移動が気になるときは手順4で「自動表示位置移動」を選び、手順5で「切」を選んでください。

お買い上げ時は「自動表示位置移動：入」に設定されています。

画面の焼き付きや残像についてのご注意

下記のような画像を画面上に一定時間表示し続けると、部分的に焼き付きや残像が発生することがあります。特に「ダイナミック」（☞27ページ）などの高輝度な映像では起こりやすくなります。これは、プラズマディスプレイの特性上起こるものであり、下記の「焼き付きや残像を軽減させるために」を行うことにより、焼き付きや残像を軽減できます。

焼き付きや残像が発生しやすい画像

- 上下に帯が表示されるワイド画像
- 画面横縦比4:3の画像
- 本機につないだデジタルチューナーやビデオなどの映像に切り換えたときに表示されるチャンネル番号やメニュー画面など
- ゲーム機器の画像、DVDのメニュー画面
- 文字放送などの画像

焼き付きや残像を軽減させるために

A 画面表示を消す。

画面表示ボタンを押して、画面表示を消してください。本機につないだ機器の画面表示を消すときは、つないだ機器側で画面表示を消してください。詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

B 画面いっぱいに映像を映す。

画面モードを「ワイドズーム」や「フル」（☞34ページ）に切り換えて、映像を表示すると、画面の焼き付きや残像を軽減できます。

ワイド画面で楽しむ

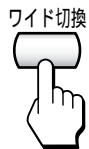
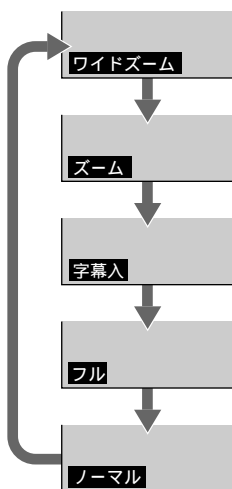
自動でワイド画面を楽しむ［オートワイド］

通常のテレビ放送も、映画などの横長サイズの映像も、本機が最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに高画質のまま自動的に拡大します。

画面モードが自動的に切り換わるのは？

- 識別制御信号（☞37ページ）のある映像を受信して、信号に応じた画面モードに自動的に切り換わるためです。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適な画面を本機が判断しているためです。

手動でワイド画面を切り換える［ワイド切換ボタン］

好きな画面モードを手動でも選べます。
また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

1回押すと、最適な画面モード（☞36ページ）ですばやく表示する*。
そのあと押すたびに画面モードが変わる。

他の方法でも切り換えられます

メニューから

「画質/各種切換」→「ワイド切換」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 手動で画面モードを固定して楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください（☞37ページ）。
- ワイド切換ボタンで切り換えたあとは、☞36ページの表のようにならないことがあります。
- オートワイドのときにワイド切換ボタンを1回押すと、オートワイド「1」、「2」の設定に従って、オートワイドが働き続けます。
  その後、くり返し押すと、次のようになります。
  － 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
  － 識別制御信号のない映像は、オートワイド「2」でも、オートワイドが働かなくなります。

＊ オートワイド「2」で「4:3映像」を「ノーマル」に設定すると（☞37ページ）、4:3映像はワイド画面にならずに、横縦比4:3の映像のままになります。

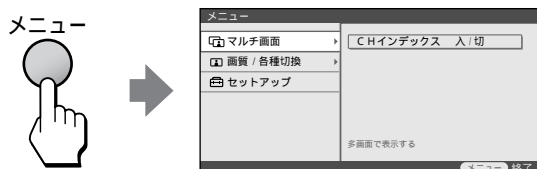
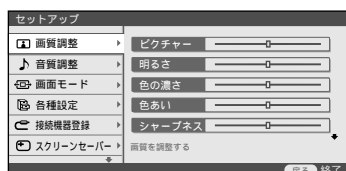
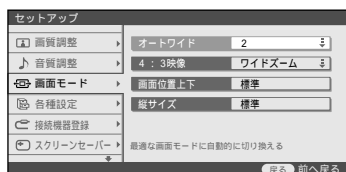
ワイド画面の上下位置/縦サイズを調整する

ワイド画像で次のようなときは、画面位置の上下や縦サイズを、画面モード（☞36ページ）ごとに調整できます。

－「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき

－「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。

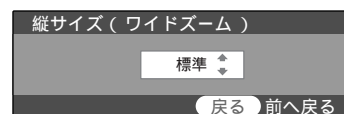
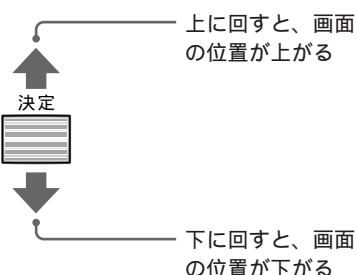
1 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。

2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。

3 で「画面モード」を選んで、で決定する。

4 で調整したい項目を選んで、で決定する。

画面の上下位置を調整するときは

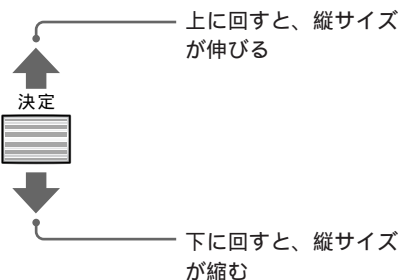
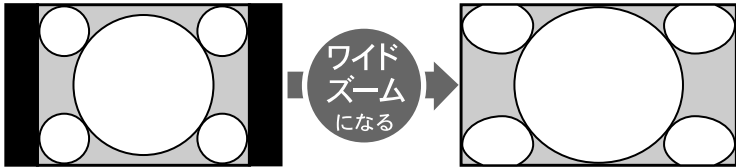
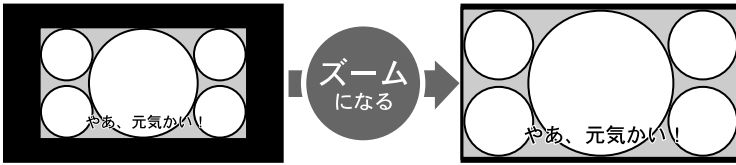
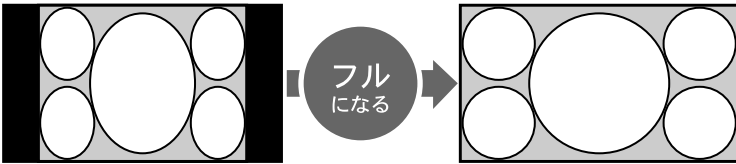
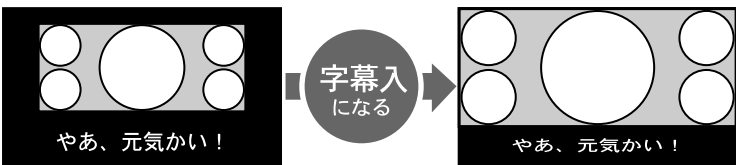
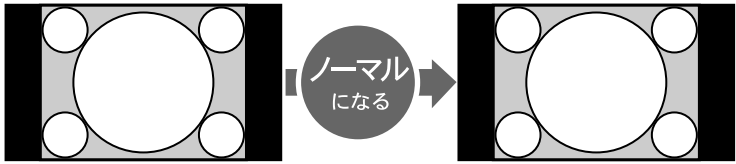
で「画面位置上下」を選んで、で決定する。

サイズを調整するときは

で「縦サイズ」を選んで、で決定する。

5 で調整して、で決定する。

画面の上下位置を調整するときは

縦サイズを調整するときは

6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

映像と音声

ワイド画面で楽しむ（つづき）

オートワイドの働きかた

オートワイドには、「1」と「2」があります（違いについては次ページをご覧ください）。下の例は、オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ワイドズーム」に設定しているときです。

オリジナルの映像（映像の種類）	画面モード	オートワイドの映像

- **通常のテレビ放送**
  （画面横縦比4:3**）**

違和感少なく画面いっぱいに拡大します。

- **ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画**
  （横縦比1.85:1**）**
- **横縦比情報の入った**DVD**ソフトの映像**
  （ID-1**方式や**S2**方式）**

画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）

- **横縦比情報の入ったビデオカメラや**DVD**ソフトなどの映像**
  （ID-1**方式や**S2**方式）**

天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。

- **シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画**
  （横縦比2.35:1**）**

画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。

- **オートワイド「**2**」で、「**4:3**映像」を「ノーマル」（お買い上げ時は「ワイドズーム」）に設定したとき**
  （☞37**ページ）**

拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

オートワイド「1」

一部の放送局の通常放送（4:3映像）には、映像を判別するための識別制御信号が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。

識別制御信号が放送局から送られているときのみ、**最適な画面モードに自動的に切り換えます。**識別制御信号が送られていないときは、画面モードを手動で選べます。

オートワイド「2」

識別制御信号の有無に関係なく、ワイド画面いっぱいに映るよう、最適な画面モードに自動的に切り換えます。

識別制御信号とは

オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。

－デジタル放送の標準テレビ信号

－横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）

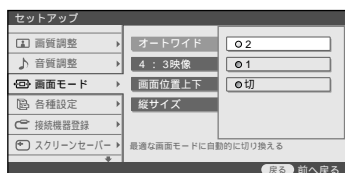
－D4映像入力端子からの横縦比情報の入った映像

オートワイドを設定する/切る

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。**

3 **で「画面モード」を選んで、決定で決定する。**

4 **で「オートワイド」を選んで、決定で決定する。**

5 **オートワイドを切るときは**

で「切」を選んで、決定で決定する（手順9へ進んでください）。

オートワイドを「1」に設定するときは

で「1」を選んで、決定で決定する（手順9へ進んでください）。

オートワイドを「2」に設定するときは

で「2」を選んで、決定で決定する。

6 **戻るボタンを押す。**

7 **オートワイド「2」のときは、で「4:3映像」を選んで、決定で決定する。**

8 **で「ノーマル」か「ワイドズーム」を選んで、決定で決定する。**

9 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

ワイド画面についてのご注意

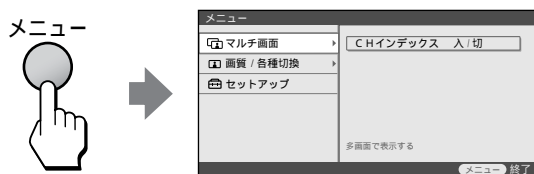
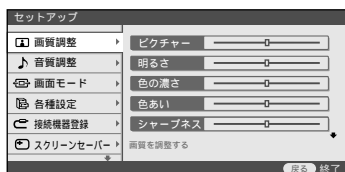
- 本機は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、画面位置上下や縦サイズを調整してください（☞35ページ）。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

音質を調整する

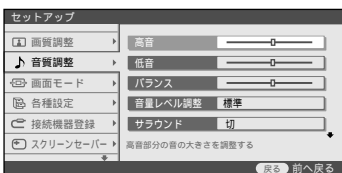
放送や入力ごとに、別々に設定できます。

ご注意

ヘッドホンの音質調整はできません。ヘッドホンの音で調整すると、実際には、ヘッドホンを抜いたときに出るスピーカーからの音が調整されます。

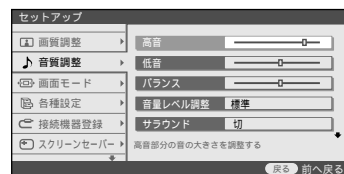
1 メニューボタンを押す。

メニュー

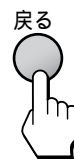
2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。

3 で「音質調整」を選んで、で決定する。

4 で調整したい項目を選んで、で決定する。

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

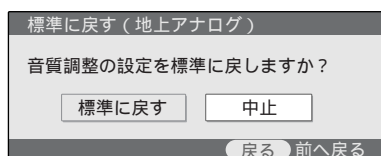
5 /←/→で調整して、で決定する。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

調整する項目の説明

項目	説明
高音	←/↓を押すかを下に回すと低くなり、→/↑を押すかを上に回すと高くなる。
低音	←/↓を押すかを下に回すと低くなり、→/↑を押すかを上に回すと高くなる。
バランス	←/↓を押すかを下に回すと左側の音が大きくなり、→/↑を押すかを上に回すと右側の音が大きくなる。
音量レベル調整	放送や入力端子ごとに、つないだ機器の音量のレベルを調整する。 詳しくは、「放送や入力端子ごとの音量差が気になるときは」（☞39ページ）をご覧ください。
サラウンド	**「TruSurround*」**（トゥルーサラウンド）：TruSurround（トゥルーサラウンド）の搭載により、通常のステレオ放送でも、本機の左右のスピーカーから映画館にいるような、臨場感あふれる音を再現する。 **「切」**：オリジナル音声をそのまま再現する。
音質モード	**「ダイナミック」**：重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質。映画やロックコンサート、モータースポーツ番組など、迫力ある映像や音声の番組向き。 **「ナチュラル」**：オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどの番組向き。

* TruSurround、SRSと(●)記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

お買い上げ時の状態に戻すには

「音質を調整する」（☞38ページ）の手順4で「標準に戻す」を選んだあとで、さらに「標準に戻す」を選ぶ。

放送や入力端子ごとの音量差が気になるときは

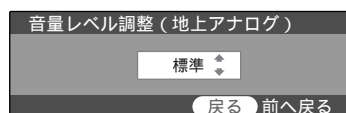
音声の入力レベルの異なる機器に入力を切り換えたとき、音量の差を感じることがあります。その場合には、放送や入力端子ごとに、「音量レベル調整」で調節してください。音量＋/－ボタンで音量を調節しても、設定した放送や入力端子ごとの音量レベルは変わりません。ただし、AVマルチ（RGB）入力とAVマルチ（Y/CB/CR）入力は同じ設定になります。

1 **音量レベルを設定したい放送や入力に切り換える。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。**

4 **で「音質調整」を選んで、決定で決定する。**

5 **で「音量レベル調整」を選んで、決定で決定する。**

6 **で調整して、決定で決定する。**
「−3」～「+3」の範囲で設定できます。

7 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

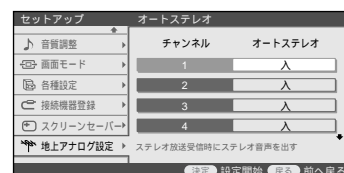
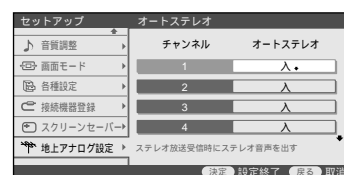
VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減させることができます。

1 **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。**

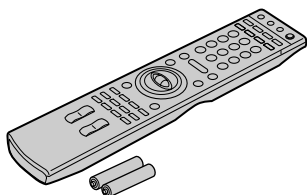
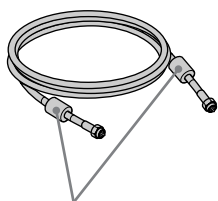
3 **で「地上アナログ設定」を選んで、決定で決定する。**

4 **で「オートステレオ」を選んで、決定で決定する。**

5 **で設定したいチャンネルを選んで、決定で決定する。**

6 **で「切」にして、決定で決定する。**

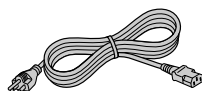
7 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているかをお確かめください。

リモコン（1個）と
単3形乾電池（2個）

VHF/UHF用
アンテナ接続ケーブル（1本）

フェライトコアを取りはずさないでください。

アンテナ変換アダプター（1個）

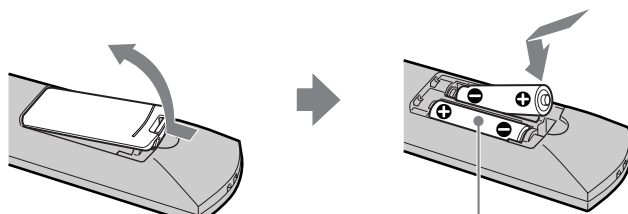
電源コード（1本）

変換プラグアダプター（1個）

クリーニングクロス（1枚）

取扱説明書
保証書
ソニーご相談窓口のご案内
安全のために
（各1部）

別売りアクセサリーについて

他機との接続（☞52ページ）には、別売りアクセサリーが必要です。
本書記載の別売りアクセサリーは、2004年3月現在のものです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

本機をスタンドに設置する

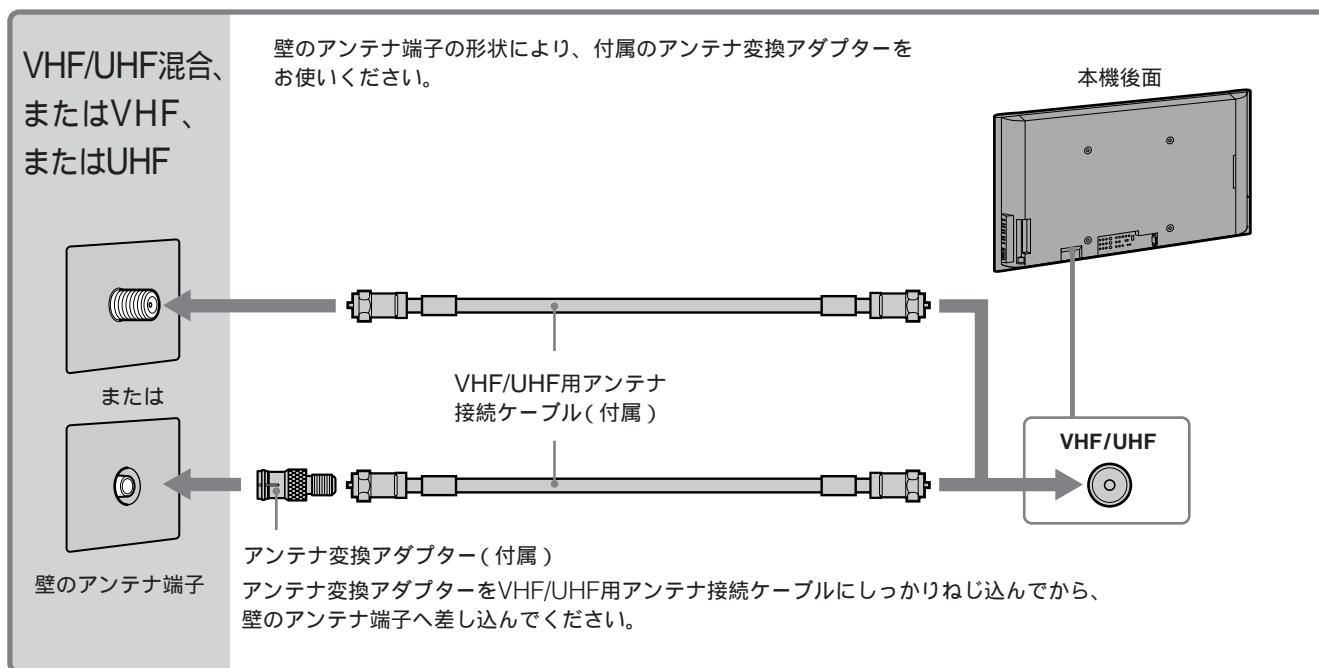
必ず下記の別売りスタンドや壁掛けユニットをご使用のうえ、設置してください。

- フローティングスタンド
  SU-PF2
- テーブルトップスタンド
  KE-P32TC2：SU-PT2S
  KE-P37TC2：SU-PT2M
- 壁掛けユニット
  SU-PW2

また、スタンドによって設置方法や設置手順が異なります。詳しくは、各スタンドや壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、正しい手順で設置してください。

スタンドや壁掛けユニットの取り付けはお買い上げ店や工事店にご依頼ください。

準備1：地上波アンテナをつなぐ

地上波アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選んでつないでください。いずれにも当てはまらない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

きれいな画像をお楽しみいただくために

本機には、デジタル回路による新テクノロジーが多数搭載されています。このため、安定した映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

ー本機後面のVHF/UHF端子への接続は、必ず付属のアンテナ接続ケーブルを使ってください。
ーアンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
ー室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

ご注意

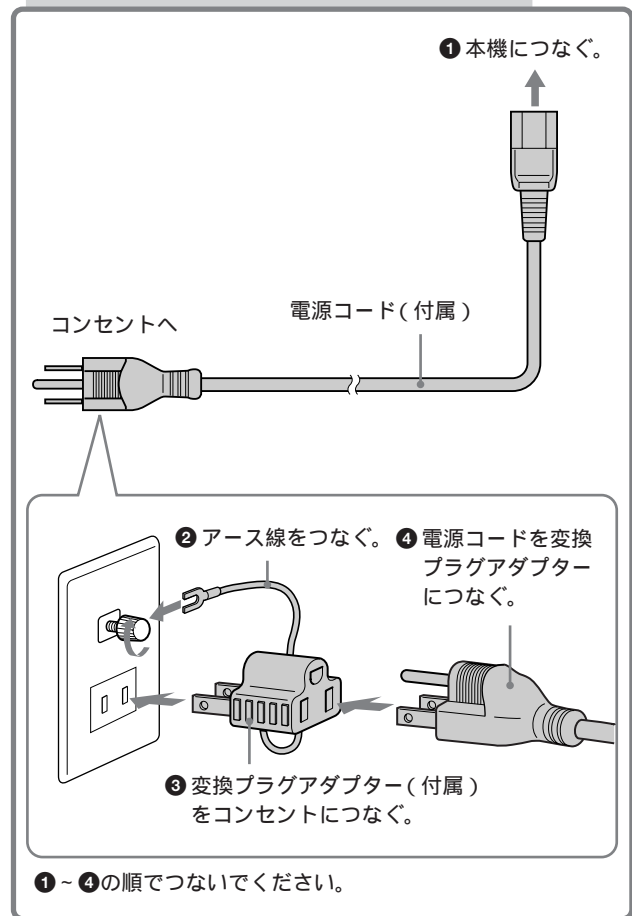
フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。VHF/UHFをご覧になるときは、同軸ケーブルでつなぐことをおすすめします。

準備2：電源コードとアース線をつなぐ

すべての接続が終わってから、本機をコンセントにつなぎます。
アース線をつなぐ前に、変換プラグアダプター（付属）のアース端子の絶縁キャップをはずしてください。

ご注意

- 変換プラグアダプター（付属）のアース端子から外した絶縁キャップを、幼児が誤って飲み込まないように注意してください。
- 必ず、付属の電源コードをご使用ください。
- 壁のコンセントが2芯専用の場合は、必ずアース工事を行ってから、付属の変換プラグアダプターを使用してアースへ接続してください。
  感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者にご依頼ください。
- 変換プラグアダプターを使うときは、安全のためコンセントに変換プラグアダプターを差し込む前にアース線をアースへ接続してください。

電源コードとアース線をつなぐ

ご注意

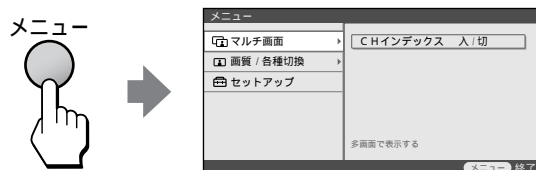
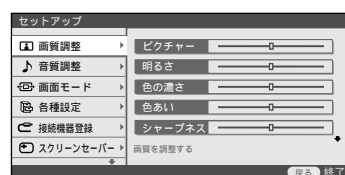
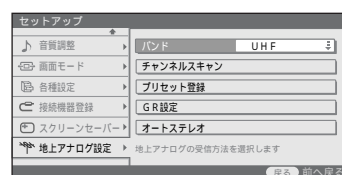
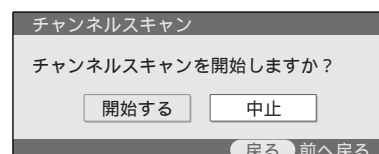
- 変換プラグアダプターをコンセントから抜くときは、アース線を最後にはずしてください。
- ビデオなどの機器をつなぐときは、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。

準備3：チャンネルを設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばしたりするときは、☞46〜49ページをご覧ください。

自動設定する［チャンネルスキャン］

1 テレビ本体の電源スイッチを押す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。

4 で「地上アナログ設定」を選んで、決定で決定する。

5 で「チャンネルスキャン」を選んで、決定で決定する。

6 ←で「開始する」を選んで、決定で決定する。

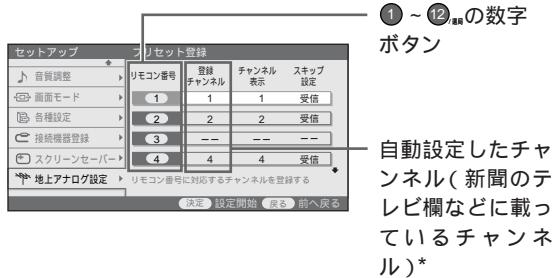
自動的に設定が始まります。
自動設定中は、電源を切らないでください。
自動設定し終わると、下のメニューに変わります。

セットアップ　プリセット登録

	リモコン番号	登録チャンネル	チャンネル表示	スキップ設定
音質調整	1	1	1	受信
画面モード	2	2	2	受信
各種設定	3	ーー	ーー	ーー
接続機器登録	4	4	4	受信
スクリーンセーバー				
地上アナログ設定	リモコン番号に対応するチャンネルを登録する			

決定 設定開始　戻る 前へ戻る

①～⑫の数字ボタン

自動設定したチャンネル（新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル）*

* 地域によっては、これまで見ていたチャンネル番号と異なる場合があります。

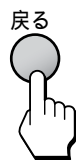
7 設定されたチャンネルを確認する。

設定したチャンネルを変更するときは「プリセット登録」

☞46ページをご覧ください。

ゴーストの少ない映像にしたいときは「ゴーストリダクション」

☞50ページをご覧ください。

8 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順6で「チャンネルスキャン中です」のメッセージが出ている間に、リモコンのボタンを押す（どのボタンを押しても途中でやめられます）。

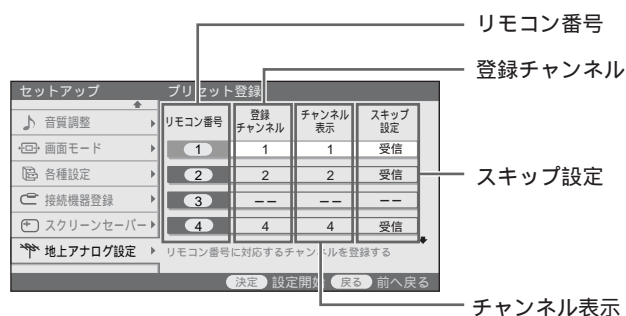
ケーブルテレビのときは

ケーブルテレビのチャンネルを自動設定するときは、「セットアップ」メニューで「バンド」を「CATV」に設定したあと、もう1度、チャンネルスキャンしてください（☞44ページ）。
「セットアップ」→「地上アナログ設定」→「バンド」→「CATV」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

次のページにつづく

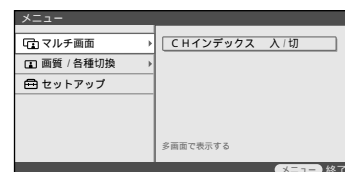
準備3：
チャンネルを設定する（つづき）

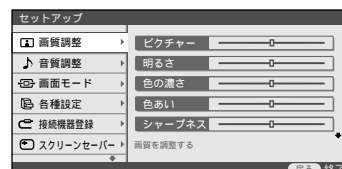
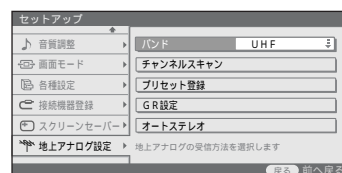
チャンネル設定を変更する［プリセット登録］

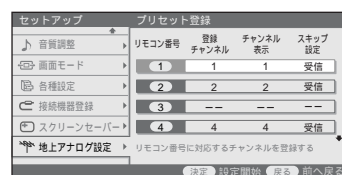
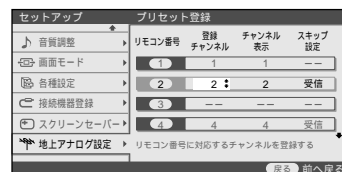
プリセット登録画面では、自動設定されたチャンネルを変更したり、続けてチャンネル表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばす設定ができます。

プリセット登録画面

「登録チャンネル」にチャンネルが設定されると、「チャンネル表示」は自動的に同じになり、「スキップ設定」は“受信”になります。「登録チャンネル」が“－－”のときは、選局できません。

プリセット登録画面の項目説明

項目	説明
リモコン番号	**チャンネルを登録できる番号。** リモコンの数字ボタンでワンタッチ選局できる1～12番と拡張1～48番に合計60チャンネルの登録が可能。拡張1～48番を選ぶときは、チャンネル表示番号（下記参照）を押して選ぶ10キー選局か、チャンネル＋/－ボタンで順送り選局をする。
登録チャンネル	**新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル。** 地域によって番号が異なる場合がある。 12より大きいチャンネルも、リモコン番号1～12までのあいている番号に登録すると、ワンタッチ選局できる。
チャンネル表示	**選局時や画面表示ボタンを押したときに、画面右上に表示される数字。** リモコン番号とは違う番号で画面表示させたいときに変更する。10キー選局では、この数字を押してチャンネルを選ぶ。
スキップ設定	**リモコン番号に対し、受信するか、しないかを設定すること。** 受信しないように設定すると、チャンネル＋/－ボタンによる順送り選局時にとばすことができる。

1 メニューボタンを押す。

2 で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。

3 で「地上アナログ設定」を選んで、決定で決定する。

4 で「プリセット登録」を選んで、決定で決定する。

自動設定されている内容が、リモコン番号、登録チャンネル、チャンネル表示とスキップ設定に一覧表示されます。

5 で変更したいリモコン番号を選んで、決定で決定する。

6 ➡で設定したい項目を選び、[ジョグダイヤル]で変更して、リモコン番号ごとに[決定]で決定する。

各項目は、個別でも設定できます。

登録チャンネルを変更する

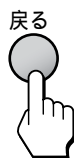
☞47ページ

チャンネル表示を書き換える

☞48ページ

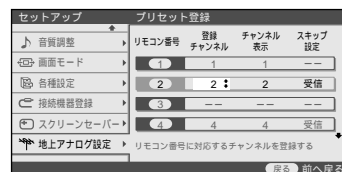
スキップ設定で放送のないチャンネルをとばす

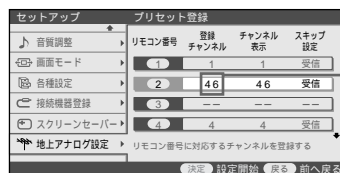
☞49ページ

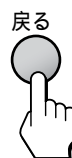
7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

登録チャンネルを変更する

リモコンの数字ボタンに自動設定されたチャンネルを、好きなチャンネルが映るように設定できます。

1 「チャンネル設定を変更する」（☞46ページ）の手順1〜5を行う。

2 「登録チャンネル」欄が選ばれていることを確認する。

3 [ジョグダイヤル]でチャンネルを変更して、[決定]で決定する。

放送のあるチャンネルの中から選べます。①〜⑫の数字ボタンを押したとき、ここで選んだチャンネルに切り換わります。

チャンネルを変更すると、「チャンネル表示」は自動的に同じになり、「スキップ設定」は“ 受信 ”になります。「登録チャンネル」が“ ーー ”のときは、選局できません。

4 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ちょっと一言

チャンネル番号を大きく変えたいときは、[決定]（ジョグダイヤル）の上下にある矢印ボタンをご使用ください。矢印ボタンを押したままにしているあいだは、チャンネル番号が変わり続け、離したときのチャンネル番号になります。

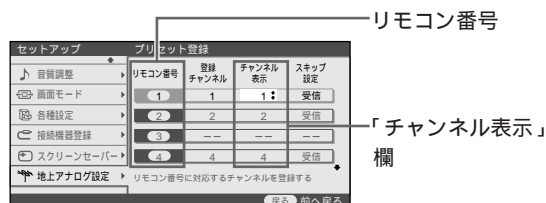
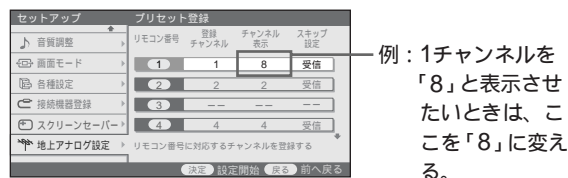
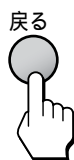
テレビの接続と準備

準備3：チャンネルを設定する（つづき）

チャンネル表示を書き換える

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 「チャンネル設定を変更する」（☞46ページ）の手順1〜5を行う。

2 ➡で「チャンネル表示」欄を選ぶ。

3 で表示番号を変更して、決定で決定する。

4 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

💡ちょっと一言

10キー選局をするときは、チャンネル表示番号で選びます。

ご注意

- チャンネルの設定、変更を行ったあとは、お買い上げ時の設定に戻すことはできません。
- リモコン番号にチャンネルが登録されていないと、変更や表示書換はできません。

ケーブルテレビの地上アナログのチャンネルを設定するには

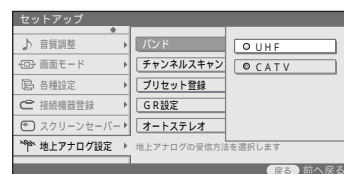
ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13〜C63までの地上アナログのケーブルテレビチャンネルを受信できます。

詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

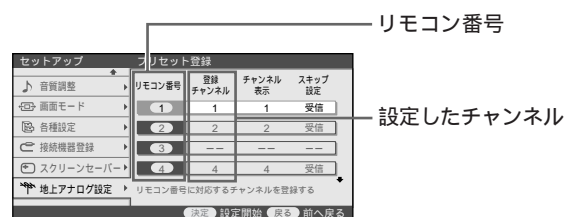
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。

3 で「地上アナログ設定」を選んで、決定で決定する。

4 で「バンド」を選んで、決定で決定する。

5 で「CATV」を選んで、決定で決定する。

6 戻るボタンを押す。

7 で「プリセット登録」を選んで、決定で決定する。

8 ▲▼でケーブルテレビを映したいリモコン番号を選んで、決定で決定する。

9 「登録チャンネル」欄が選ばれていることを確認して、▲▼でケーブルテレビのチャンネルを選び、決定で決定する。

ケーブルテレビのチャンネルには、番号の前に「C」がつきます。
例：C24

10 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

チャンネル表示を書き換えるには
手順9で「チャンネル表示」欄を選ぶ。

スキップ設定で放送のないチャンネルをとばす

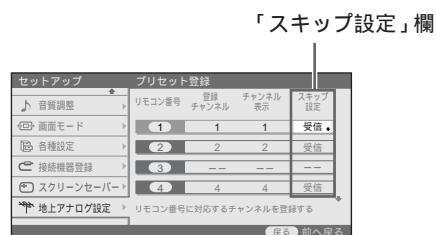
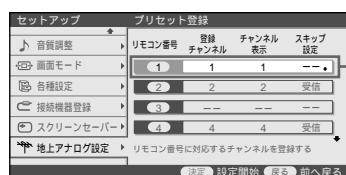
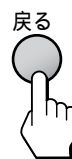
チャンネル＋/－ボタンで順送り選局するときやCHインデックスで、放送のないチャンネルをとばす設定ができます。

1 「チャンネル設定を変更する」（☞46ページ）の手順1～5を行う。

2 ➡で「スキップ設定」欄を選ぶ。

3 ▲▼で「－－」を選んで、決定で決定する。

4 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

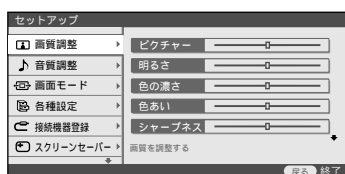
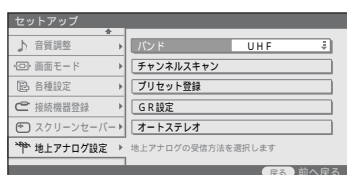
テレビの接続と準備

ゴーストの少ない映像にする［ゴーストリダクション］

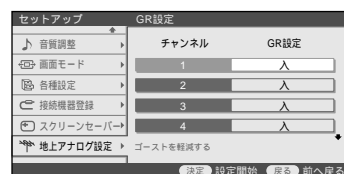
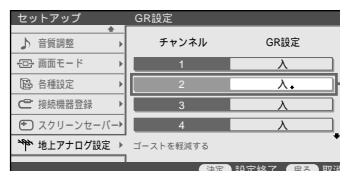
本機では、建物や地形などによる妨害波で起こるゴーストを、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知して、少なくする（リダクション）ように、チャンネルごとに設定できます。
「GR」はゴースト・リダクションの略です。

ご注意

録画機器の再生映像など、本機につないだ機器の映像に対しては設定できません。

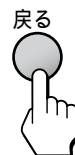
1 メニューボタンを押す。

2 で「セットアップ」を選んで、で決定する。

3 で「地上アナログ設定」を選んで、で決定する。

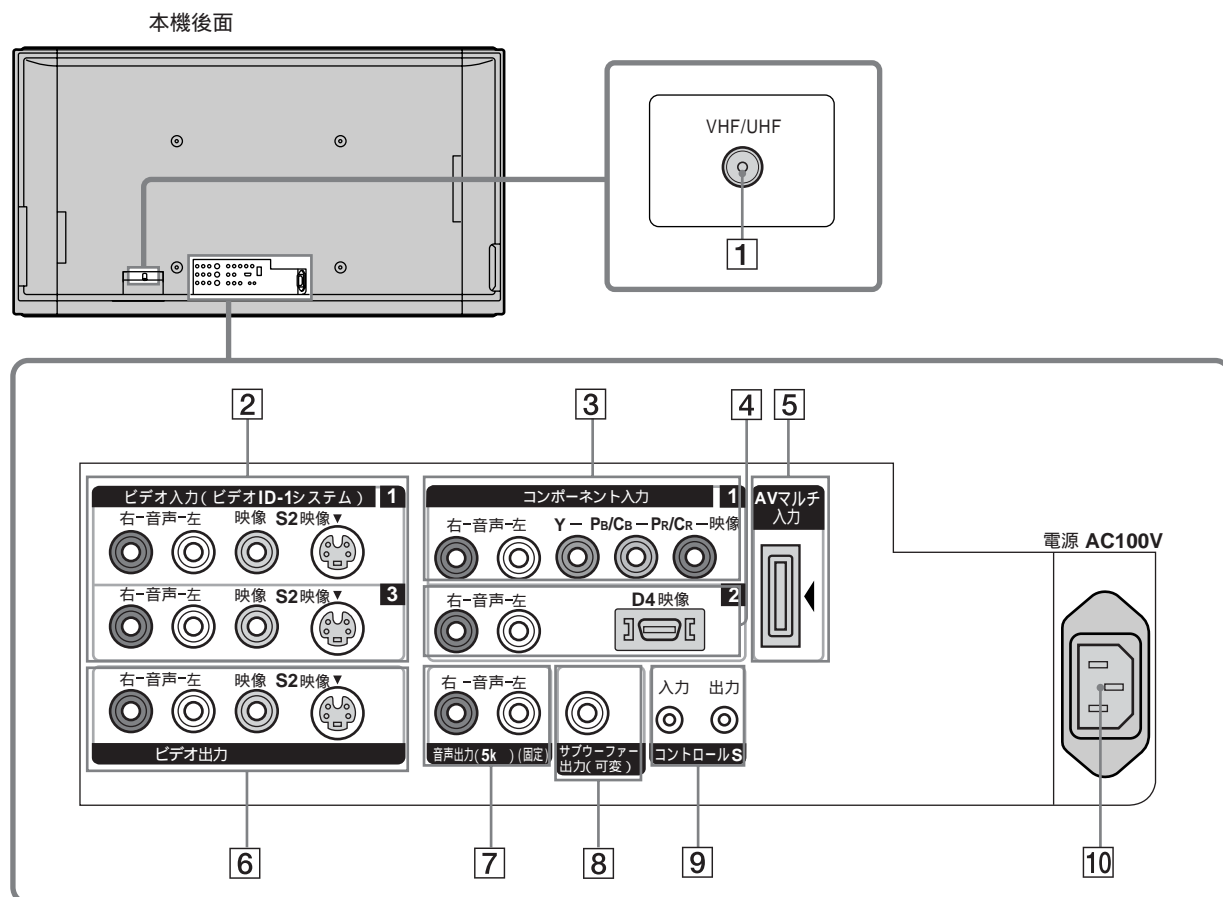
4 で「GR設定」を選んで、で決定する。

5 で設定を変えたいチャンネルを選んで、で決定する。

6 で「入」または「切」を選んで、で決定する。

お買い上げ時は「入」に設定されています。

7 複数のチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。

8 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ご注意

- ゴースト・リダクションは、チャンネルを切り換えたあと、数秒してから働き、大きなゴーストから順々に少なくしていきます。このとき、映像が一瞬またたくことがあります。
- 受信している電波が弱いときは、大きなゴーストに働くと別のゴーストが起きることがありますが、徐々に少なくしていきます。
- アンテナの設置や調整のときは「GR」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が充分に出ないため、「GR」を「切」にしてください。
  - ゴーストが大きすぎるとき
  - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
  - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
  - 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき

接続端子のなまえとはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 VHF/UHF**アンテナ端子（☞42ページ）**

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

2 ビデオ1、3入力端子（S2映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞55、59、60〜61、63、64ページ）

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

3 コンポーネント1入力端子（Y PB/CB PR/CR 映像/音声）（☞58、63ページ）

Y PB/CB PR/CR 映像入力端子

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子（Y/CB/CRまたは、Y/B-Y/R-Y、Y/PB/PR）、またはハイビジョン機器の映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

DVDプレーヤーまたはハイビジョン機器の音声出力端子につなぎます。

Y PB/CB PR/CR 映像入力端子での入力信号切換について（HDモード）

ご覧になる映像の信号の種類によって設定し直してください。

「セットアップ」メニューで「HDモード」を「1080」（お買い上げ時の設定）または「1035」に設定してください。

「セットアップ」→「各種設定」→「HDモード」→「1080」または「1035」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。設定していない方の信号は正しく映りません。

従来のハイビジョン放送（有効走査線数1035本）を見るときは、「HDモード：1035」に設定してください。

4 コンポーネント2入力端子（D4映像/音声）（☞57、59、60、62、64ページ）

D4映像入力端子*1
地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

*1 D端子について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞80ページ）をご覧ください。

音声入力端子
地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

D4映像入力端子での入力信号切換について（HDモード）
D4映像入力端子に入力される以下の2種類の信号を判別して、本機の画面に映すための設定です。デジタル放送やコンポーネント入力からの信号に有効です。

- **デジタルハイビジョン放送**（有効走査線数1080本）：D4映像入力端子に他のBSデジタルチューナーなど、デジタルハイビジョン放送機器がつながっているとき。
- **従来のハイビジョン放送**（有効走査線数1035本）：D4映像入力端子に従来のハイビジョン（ベースバンド）機器がつながっているとき。デジタルハイビジョンの識別制御信号がない映像信号は、有効走査線数1035本の画像で表示します。

「セットアップ」メニューで「HDモード」を「1080」（お買い上げ時の設定）または「1035」に設定してください。設定していない方の信号は正しく映りません。
「セットアップ」→「各種設定」→「HDモード」→「1080」または「1035」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。

D端子について
デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i（480i）	525本	480本
525p（480p）	525本	480本
1125i（1080i）	1125本	1080本
750p（720p）	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です（☞80ページ）。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

5 AVマルチ入力端子（☞65ページ）

別売りのAVマルチケーブル（VMC-AVM250）を使って、“プレイステーション 2”などのAVマルチ出力端子につなぎます。

6 ビデオ出力端子（S2映像/映像/音声）

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
VHF/UHF、ビデオ1～3入力*2、AVマルチ入力の信号が出力されます。

*2 ただし、ビデオ1入力の信号については、「セットアップ」メニューで「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」に設定してください（☞56ページ）。
「セットアップ」→「各種設定」→「ビデオ出力設定」→「ビデオ1あり」を選ぶ。
選びかたは☞3ページをご覧ください。

ご注意

- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像・音声信号は出力されません。
- S2映像出力端子からは、ビデオ1～3入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます。

7 音声出力（5kΩ）（固定）端子（左/右）（☞67ページ）

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。

ご注意

本機左側面のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、音声出力端子からの音声信号が出力されなくなります。音声出力端子にカセットデッキなど録音機器をつないでいるときは、ご注意ください。

8 サブウーファー出力（可変）端子（☞67ページ）

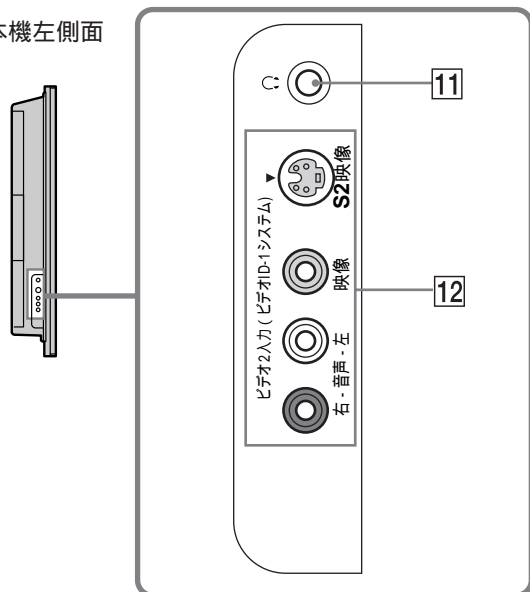
サブウーファーの入力端子とつなぎます。

9 コントロールS入力/出力端子（☞24ページ）

ソニー製機器のコントロールS端子とつなぎます。

10 電源AC100V入力端子（☞43ページ）

付属の電源コードをつなぎます。

接続端子のなまえとはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

11 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

12 ビデオ2入力端子（S2映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞66ページ）

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

コンポーネント1、2入力端子につないだ機器の画像の色あいについて（カラーマトリクス）

コンポーネント入力につないだデジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどの出力が、525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の各信号フォーマットのとき、映像が自然な色あいになるように設定できます。
通常はお買い上げ時の設定のままでお使いください。色あいが不自然になったときには、設定し直してください。
「セットアップ」メニューで「カラーマトリクス」をコンポーネント1、2の各入力ごとに、480p、1080i、720pの信号フォーマットを選んで、「Y/C_B/C_R」または「Y/P_B/P_R」で、自然な色あいになる方に設定してください。
「セットアップ」→「各種設定」→「カラーマトリクス」→「480p」または「1080i」、「720p」→「Y/C_B/C_R」または「Y/P_B/P_R」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
お買い上げ時は、「480p」は「Y/C_B/C_R」に、「1080i」と「720p」は「Y/P_B/P_R」に設定されています。

ビデオなどをつなぐ

ビデオデッキやチャンネルサーバー、ソニー製ハードディスクビデオレコーダーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S2映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、S2映像端子につないでください*。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

* レーザーディスクプレーヤーのときは映像端子につないでください。三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

ビデオの再生映像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機後面

VHF/UHF

ビデオ入力（ビデオID-1システム） 1
右－音声－左　映像　S2映像
音声　映　S2映像 3

S映像・音声コード
（別売り：YC-830Sなど）

S映像・音声出力端子へ

VHF/UHF
出力端子へ

ビデオなど

VHF/UHF
入力端子へ

地上波アンテナより

：映像・音声信号の流れ

ビデオなどの映像を見るには

WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「ビデオ」などを選ぶ*2。またはビデオの映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞14ページ）。

*2 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

つないだ機器を本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞18ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機から録画した16:9の映像を、画面の横縦比4:3のワイド機能のないテレビで再生すると映像が縦長に引き延ばされて出力されます。
- 本機をモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞56ページ）。

ビデオ1～3入力のS2映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

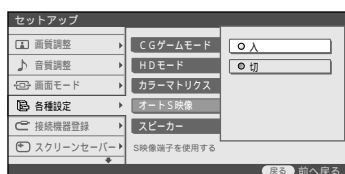
ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニューで設定できます。お買い上げ時は、S2映像入力端子から入力された映像が映ります。

1 ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ［上下］で「セットアップ」を選んで、［決定］で決定する。

4 ［上下］で「各種設定」を選んで、［決定］で決定する。

5 ［上下］で「オートS映像」を選んで、［決定］で決定する。

6 ［上下］で「入」または「切」を選んで、［決定］で決定する。

「入」：S2映像入力端子から入力された映像を見ることができる。

「切」：映像入力端子から入力された映像を見ることができる。

7 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

ビデオ1入力の信号をビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、ビデオ出力端子から出力されないようになっています。本機をモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは再生機をビデオ2、3入力端子のいずれかにつないでください。

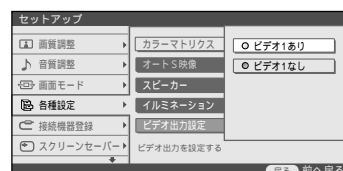
ビデオ1入力の映像や音声をビデオ出力端子につないだビデオ機器などで楽しむときは、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がビデオ出力端子から出力されます。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ［上下］で「セットアップ」を選んで、［決定］で決定する。

3 ［上下］で「各種設定」を選んで、［決定］で決定する。

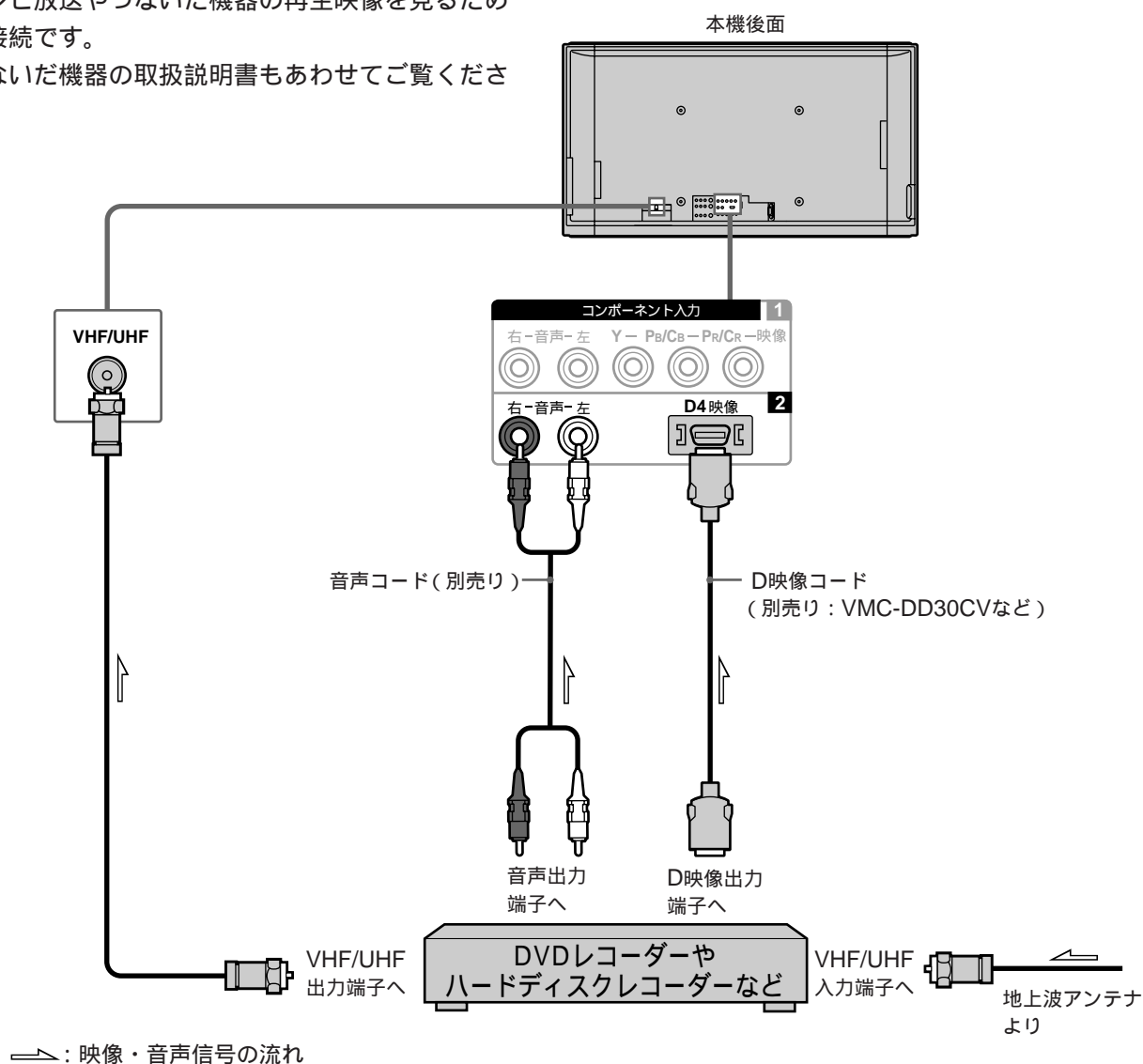
4 ［上下］で「ビデオ出力設定」を選んで、［決定］で決定する。

5 ［上下］で「ビデオ1あり」を選んで、［決定］で決定する。

6 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなどをつなぐ

DVDレコーダーやハードディスクレコーダーまたはそれらが複合した機器などをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

D端子のある機器のとき

テレビ放送やつないだ機器の再生映像を見るための接続です。
つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機後面

コンポーネント入力 1
右－音声－左　Y－PB/CB－PR/CR－映像
右－音声－左　D4映像 2

VHF/UHF

音声コード（別売り）

D映像コード
（別売り：VMC-DD30CVなど）

音声出力端子へ

D映像出力端子へ

VHF/UHF
出力端子へ

DVDレコーダーや
ハードディスクレコーダーなど

VHF/UHF
入力端子へ

地上波アンテナより

：映像・音声信号の流れ

つないだ機器の映像を見るには

WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」からつないだ機器の名前を選ぶ*。またはつないだ機器の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞14ページ）。

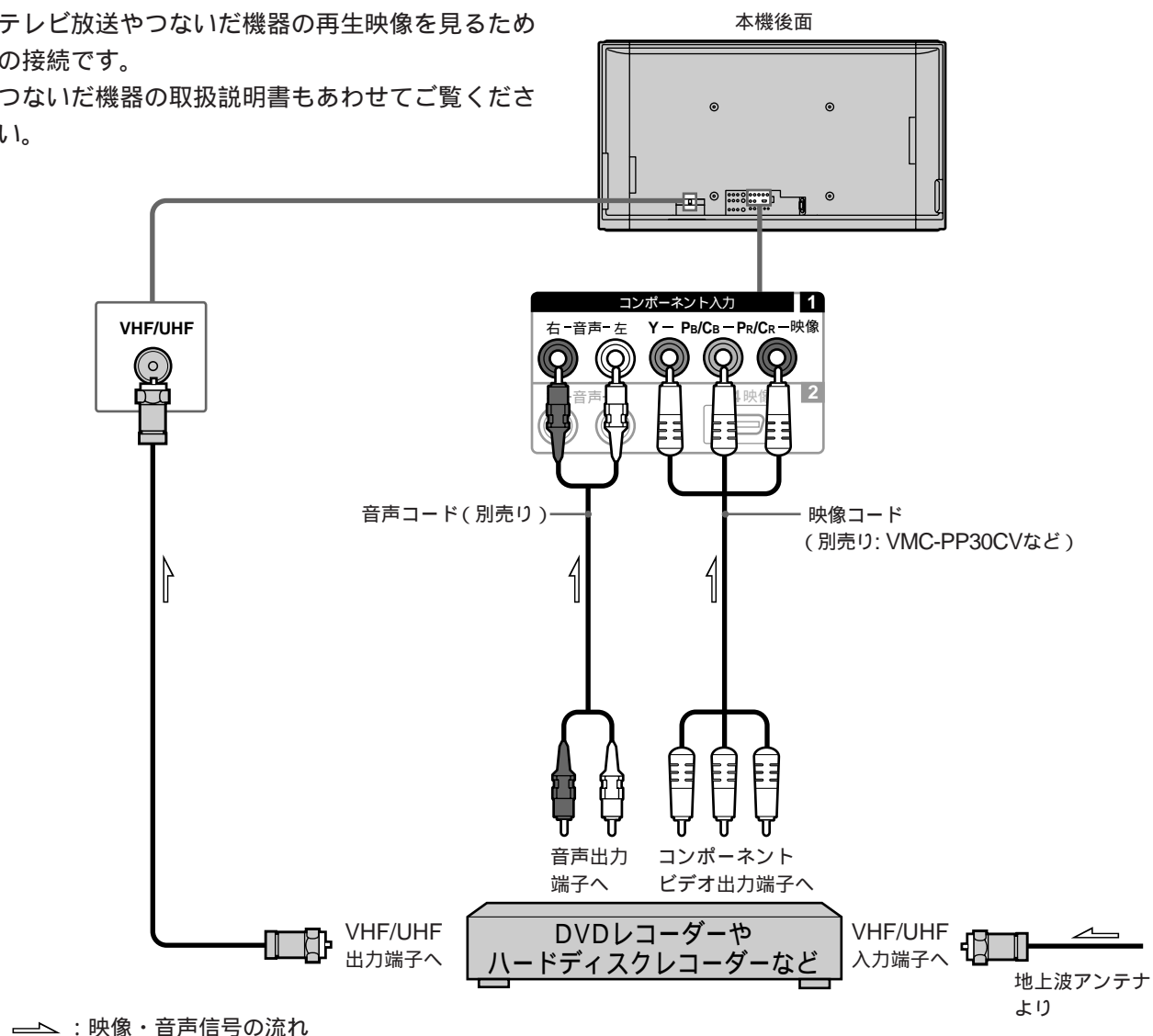
* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

つないだ機器を本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞18ページ）をご覧ください。

DVDレコーダーやハードディスクレコーダーなどをつなぐ（つづき）

D端子のない機器のとき

テレビ放送やつないだ機器の再生映像を見るための接続です。
つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

つないだ機器の映像を見るには

WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」からつないだ機器の名前を選ぶ*。またはつないだ機器の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞14ページ）。

* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

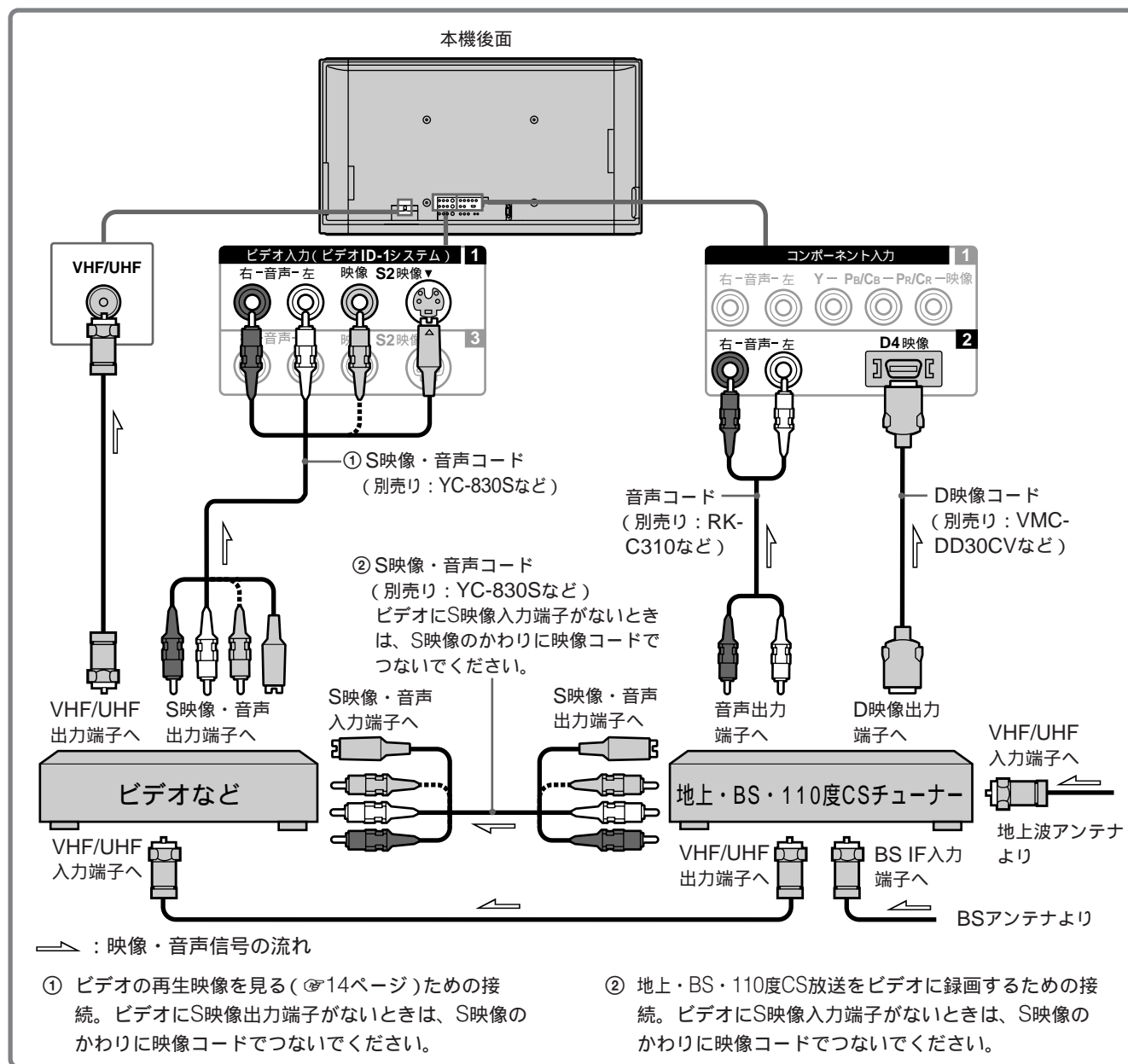
つないだ機器を本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞18ページ）をご覧ください。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには、地上・BS・110度CSデジタルチューナーが必要です。また、BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナや分配器などが必要です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

① ビデオの再生映像を見る（☞14ページ）ための接続。ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

② 地上・BS・110度CS放送をビデオに録画するための接続。ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには

WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」からつないだ機器の名前を選ぶ*。または地上・BS・110度CSデジタル放送の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞14ページ）。

* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

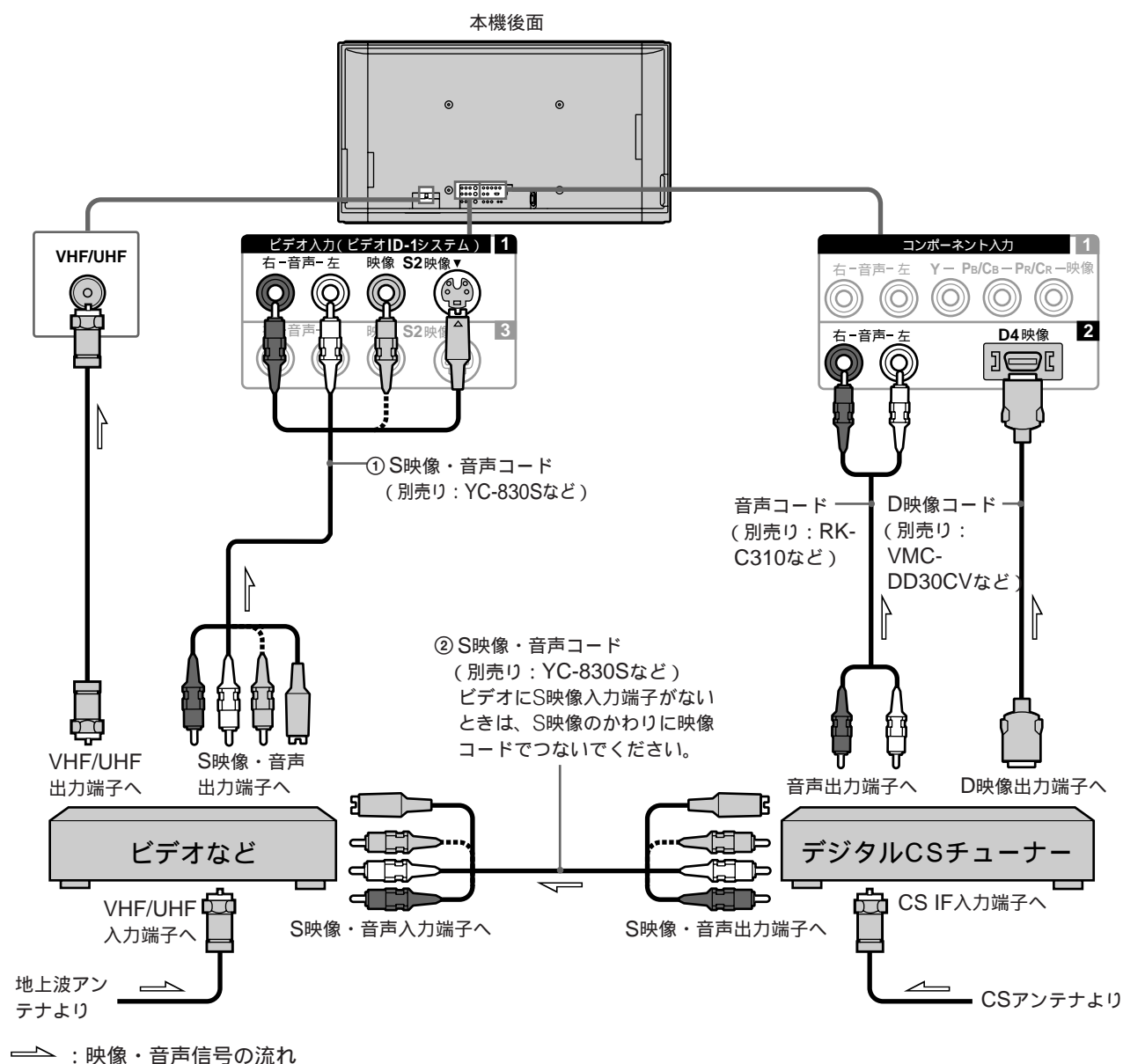
ご注意

- このテレビにはD4映像入力端子がついています。地上・BS・110度CSデジタルチューナー側でD4端子に合った設定にしてください。
- 地上・BS・110度CSデジタルチューナー側のテレビ選択の設定を「4:3ワイドモード」や「16:9」など、このテレビに合わせた設定にしてください。詳しくは、地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送*を見るには、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。詳しくは、デジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* スカイパーフェクTV! のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

D端子のあるデジタルCSチューナーのとき

① ビデオの再生映像を見る（☞14ページ）ための接続。ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

② デジタルCS放送をビデオに録画するための接続。ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像のかわりに映像コードでつないでください。

デジタルCS放送を見るには

デジタルCS放送の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞14ページ）。

D端子のないデジタルCSチューナーのとき

デジタルCS放送を見るには

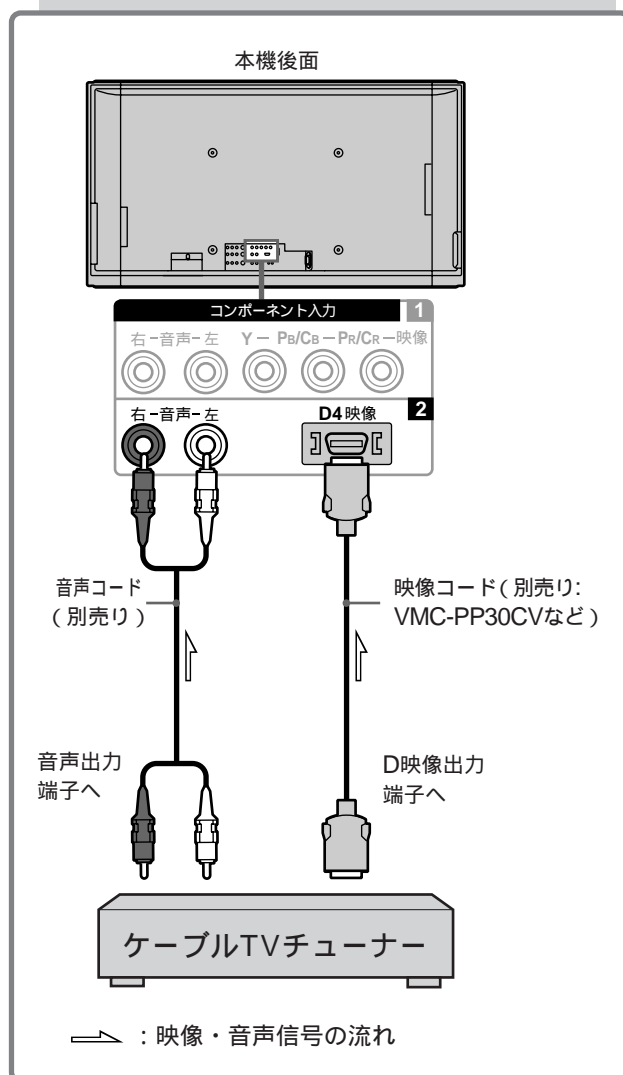
WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「デジタルCSチューナー」を選ぶ*。またはデジタルCS放送の映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞14ページ）。

* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

ケーブルTVチューナーをつなぐ

ケーブルテレビ放送*1を見るには、ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）の受信にはケーブルTVチューナーが必要です。詳しくは、お住まいの地域のケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。
ケーブルTVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

*1 ケーブルテレビ放送の視聴はサービスの行われている地域のみで可能です。また、サービス内容や送受信方式、使用機器はケーブルテレビ放送会社によって異なります。

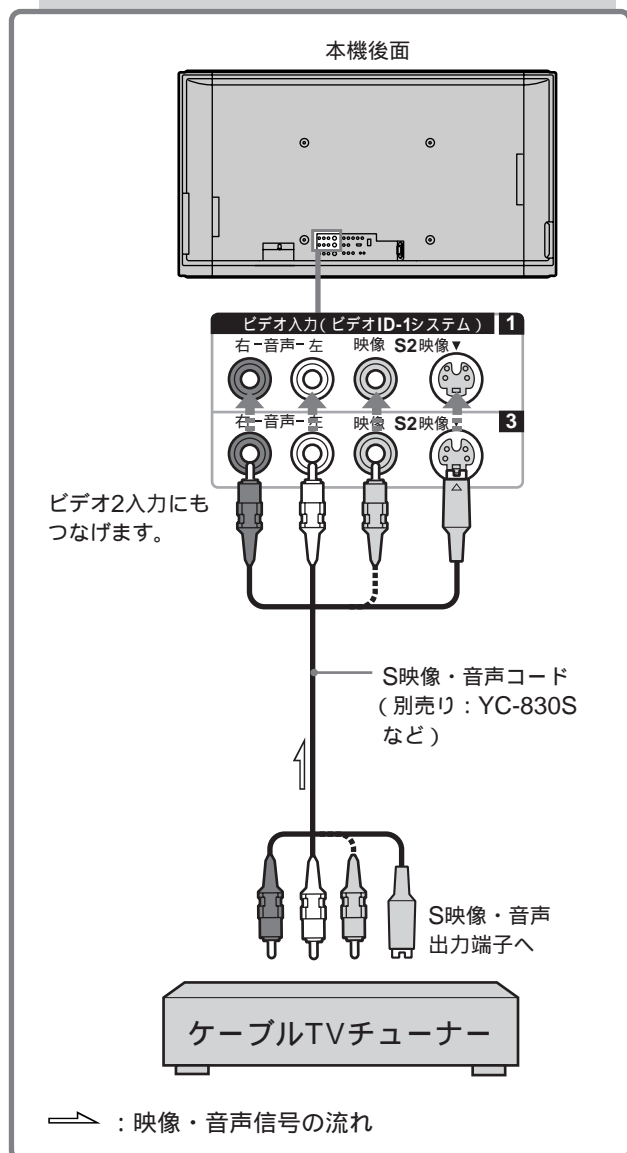
地上・BS・110度CSデジタル放送に対応したケーブルTVチューナーのとき

ケーブルテレビ放送を見るには

WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「ケーブルTVチューナー」を選ぶ*2。またはケーブルテレビ放送の映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞14ページ）。

*2 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

ご注意

このテレビにはD4映像入力端子がついています。ケーブルTVチューナー側でD4端子に合った設定にしてください。

コンポーネントビデオ出力端子のないケーブルTVチューナーのとき

ケーブルテレビ放送を見るには

WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「ケーブルTVチューナー」を選ぶ*2。またはケーブルテレビ放送の映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞14ページ）。

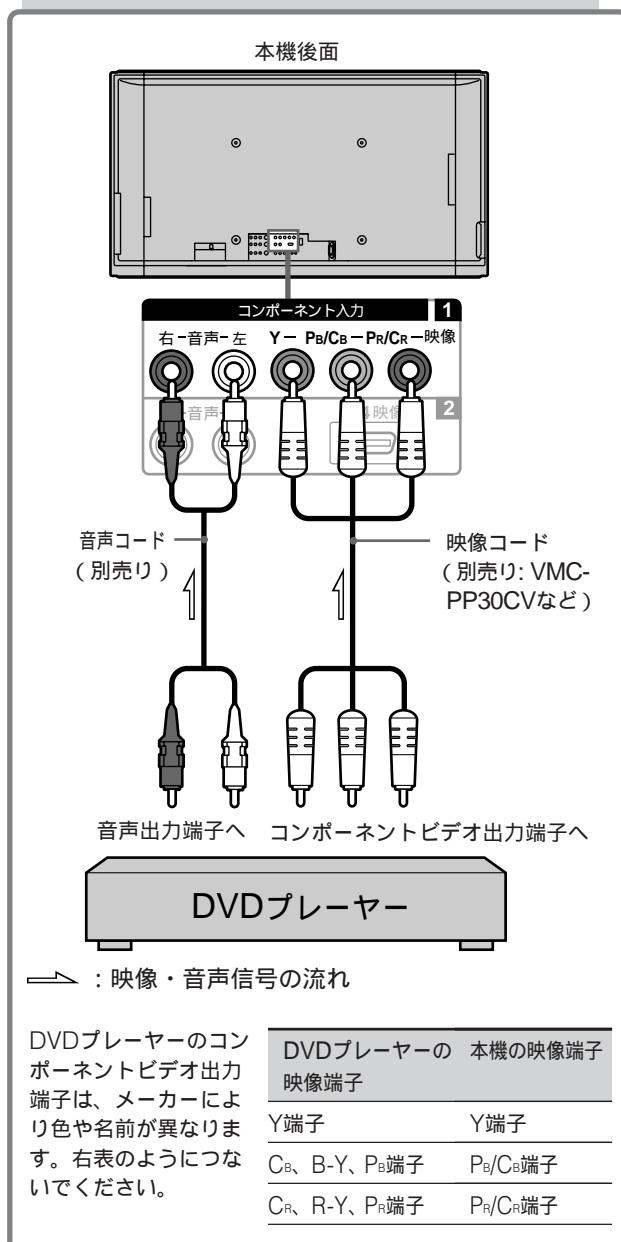
*2　接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

DVDプレーヤーをつなぐ

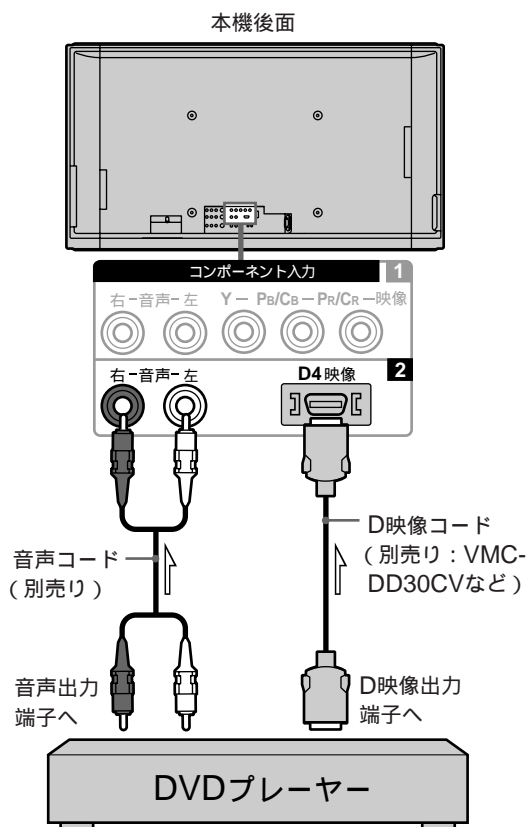
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のないDVDプレーヤーのとき

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子は、メーカーにより色や名前が異なります。右表のようにつないでください。

DVDプレーヤーの映像端子	本機の映像端子
Y端子	Y端子
CB、B-Y、PB端子	PB/CB端子
CR、R-Y、PR端子	PR/CR端子

次のページにつづく

DVDプレーヤーをつなぐ（つづき）

コンポーネントビデオ出力端子にD端子のあるDVDプレーヤーのとき

コンポーネント1入力にもつなげます。
D映像コードのかわりに、D端子コンポーネントビデオコード（別売り：VMC-DP30CVなど）を使ってY端子、CB端子、CR端子とD端子をつなぐこともできます。

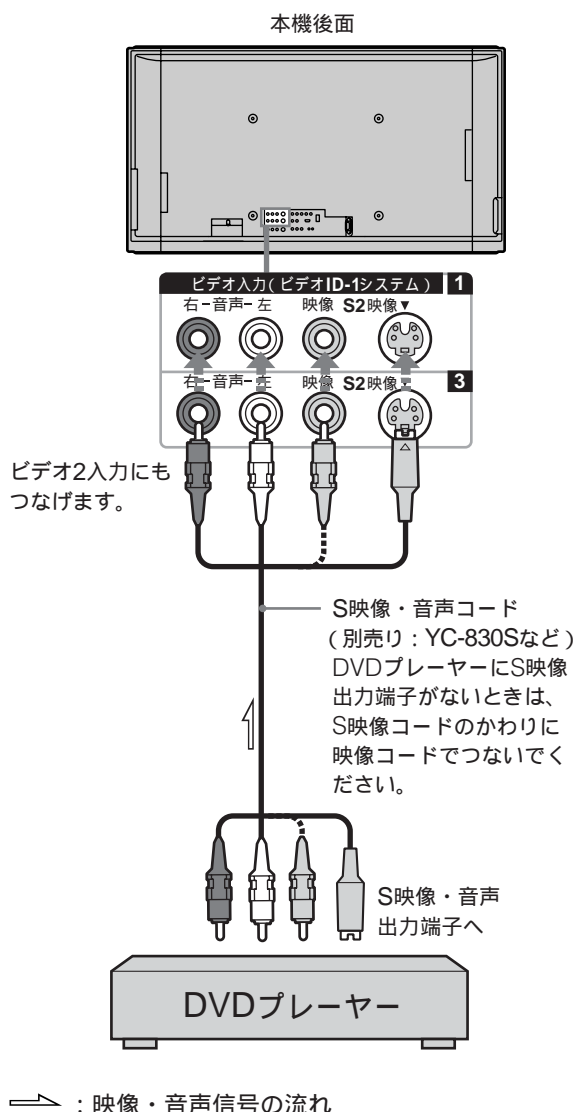
DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは
WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「DVD」を選ぶ*。またはDVDプレーヤーの映像が出るまで、くり返しコンポーネントボタンを押す（☞14ページ）。

* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

DVDプレーヤーを本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞18ページ）をご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのとき

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは
WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「DVD」を選ぶ*。またはDVDプレーヤーの映像が出るまで、くり返しビデオボタンを押す（☞14ページ）。

* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

DVDプレーヤーを本機のリモコンで操作するには

「本機のリモコンで他機器を操作する」（☞18ページ）をご覧ください。

“ プレイステーション 2 ” などをつなぐ

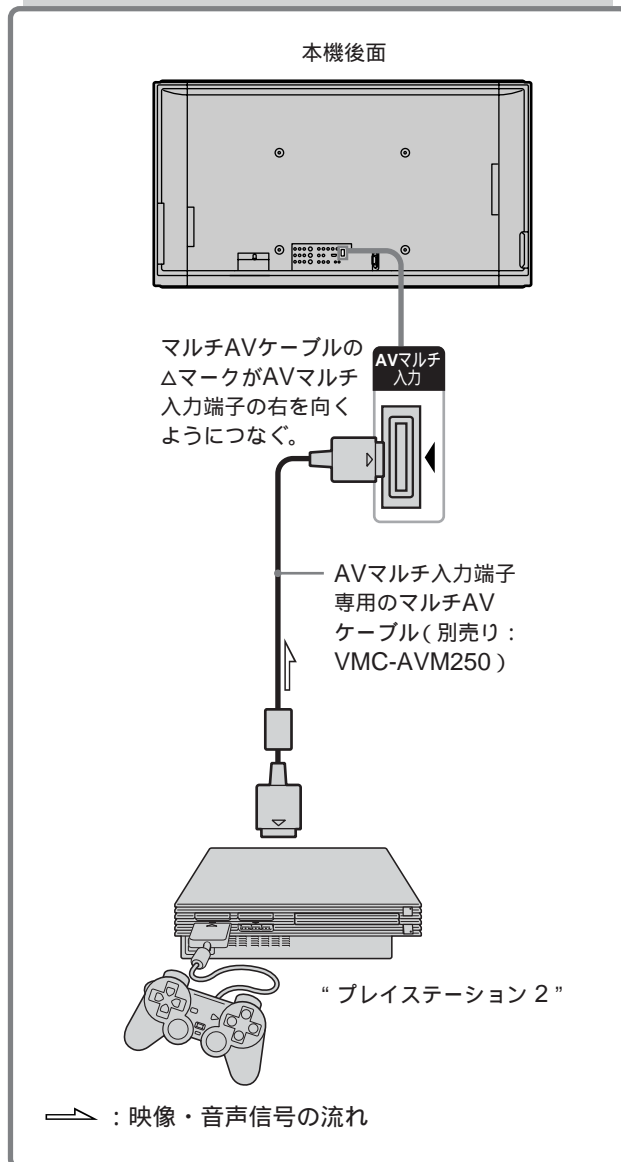
“ プレイステーション 2 ”、
“ プレイステーション ”（PS one）および
“ プレイステーション ”を本機とつないで楽しめます。
つないだ“ プレイステーション 2 ”などの取扱説明書もご覧ください。

ご注意

“ プレイステーション 2 ”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y CB/PB CR/PR）に固定されるため、画面が乱れる場合があります。本機のAVマルチ入力端子は、このコンポーネント映像信号に対応していますが、「AVマルチ入力」が「AVマルチRGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。AVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチY/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。
詳しくは、“ プレイステーション 2 ”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
URL .... http://www.playstation.jp/info/
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00〜18:00

“ プレイステーション ”および“ PS one ”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

別売りのマルチAVケーブルでつなぐとき

“ プレイステーション 2 ”などを楽しむには

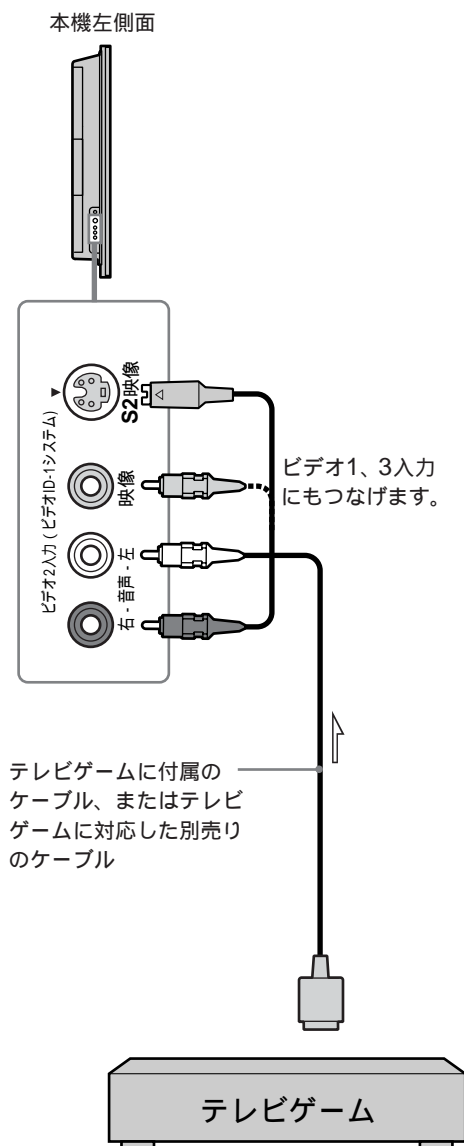
WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「ゲーム」を選ぶ*。または映像が出るまで、AVマルチボタンをくり返し押す（☞15ページ）。

* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

ご注意

ソフトウェアの信号によっては、AVマルチ入力端子のRGBやY/CB/CR信号に適していないものもあります。

その他のテレビゲームなどをつなぐとき

本機左側面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もご覧ください。

テレビゲームを楽しむには

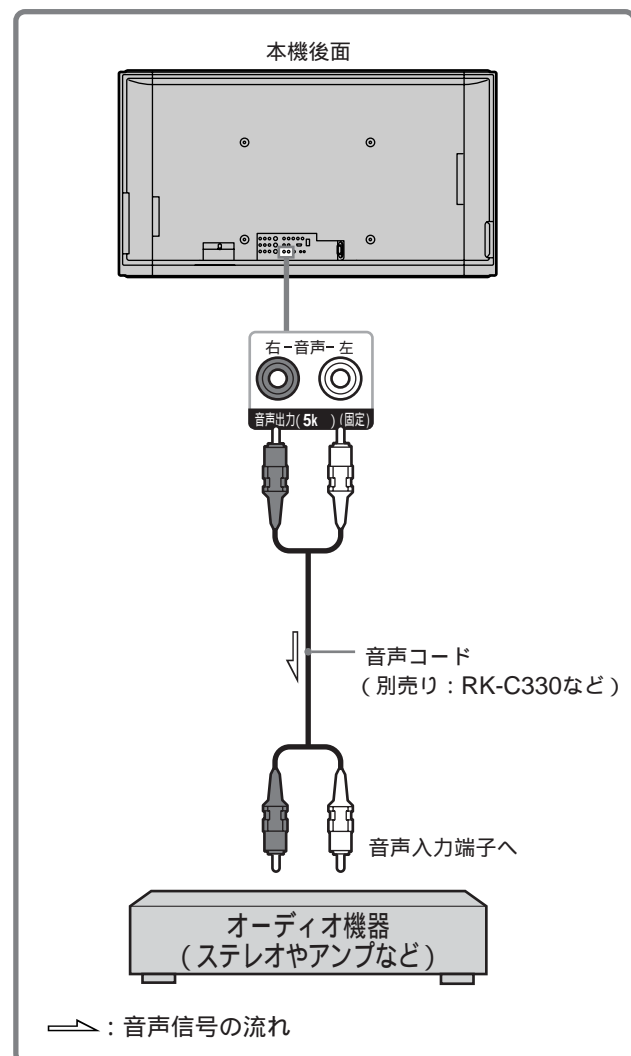
WEGA GATEの「外部機器をたのしむ」から「ゲーム」を選ぶ*。または映像が出るまで、ビデオボタンをくり返し押す（☞14ページ）。

* 接続機器登録（☞17ページ）でビデオラベルを設定していない場合は、つないだ接続端子名で選びます。

ご注意

電子的なライフルやガン（銃）などでテレビ画面を標的にして楽しむシューティングゲームなどは、その機能を使えないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

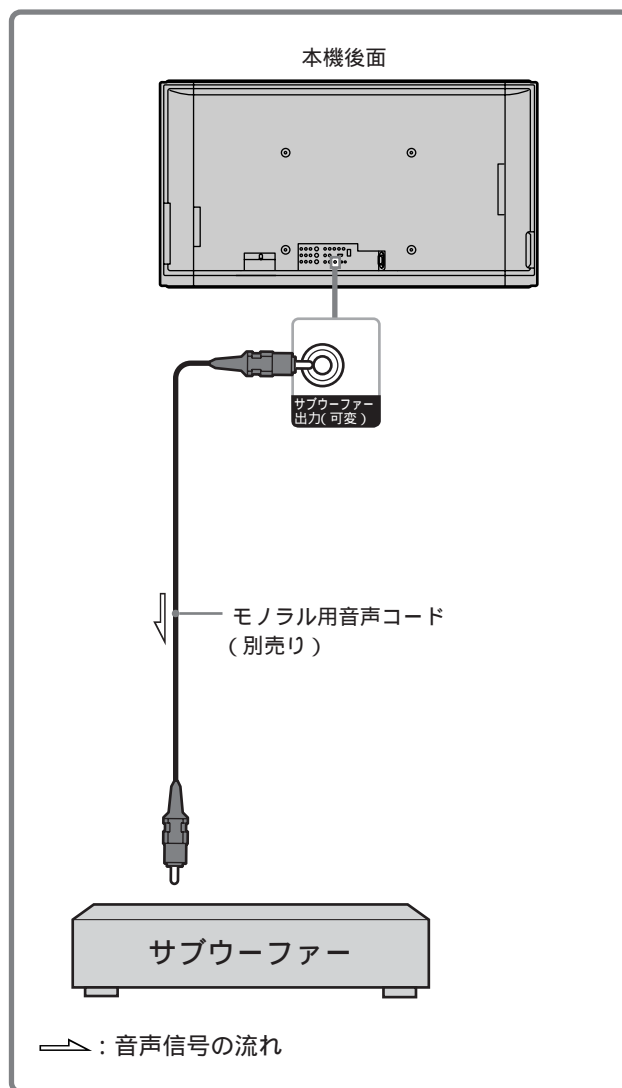
オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調節したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

オーディオ機器につないだスピーカーで音声を聞くときは
「セットアップ」メニューで「スピーカー」を「切」にしてください。
「セットアップ」→「各種設定」→「スピーカー」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。オーディオ機器側で音量を調節してください。

ご注意

本機左側面のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、音声出力端子からの音声信号が出力されなくなります。音声出力端子にカセットデッキなど録音機器をつないでいるときは、ご注意ください。

サブウーファーをつなぐ

サブウーファーをつないで、迫力ある重低音を楽しめます

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：
KE-P32TC2（ケーイー ピー ティーシー）、KE-P37TC2（ケーイー ピー ティーシー）

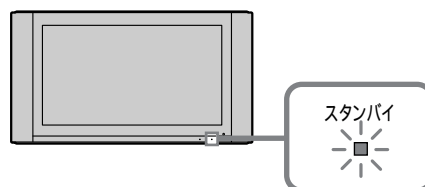
画面サイズ（番号）がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

リモコンの型名：RM-J450（アールエム ジェイ）

故障の状況：できるだけくわしく

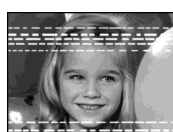
購入年月日：

自己診断表示－画面が消え、スタンバイランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイランプの点滅およびその速さでテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイランプが赤く点滅したら、下の手順に従って、ソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

1. 本機前面のスタンバイランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
   たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2. テレビ本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

テレビの症状と対処のしかた

映像について

症状	対処のしかた
画像が出ない	
すべてのチャンネルが映らない。	● 電源コードを、テレビ本体と壁のコンセントにしっかりつないでください。 ● 本体の電源スイッチを押して、主電源を入れてください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● 消画にしていませんか？（☞26ページ）消画のときは消画ランプが青く点灯します。 ●「残像軽減モード」にしていませんか？（☞32ページ）「残像軽減モード」のときは画面が白くなり、約30分後に自動的に通常の画面に戻ります。
特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを合わせ直してください（☞44ページ）。
テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（電源スタンバイ状態になった）。	● テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後または放送のないチャンネルを受信している状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的に電源スタンバイ状態になります。 ● オフタイマーを設定していませんでしたか?（☞9ページ） ●「セットアップ」メニューで「無操作電源オフ」を設定していませんか?（☞7ページ）
つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞14、15ページ）。 ● S映像入力のときは、「セットアップ」メニューで「オートS映像」を「入」にしてください（☞56ページ）。 「セットアップ」→「各種設定」→「オートS映像」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ●“プレイステーション 2”をAVマルチ入力端子につないでいるときは、“プレイステーション 2”のコンポーネント出力の設定と本機のAVマルチ（RGBまたはY/CB/CR）入力を合わせてください（☞15ページ）。 ● 消画にしていませんか？（☞26ページ）。消画のときは消画ランプが青く点灯します。 ● 接続機器登録で、機器をつないだ接続端子のビデオラベルを「使用しない」に設定していませんか？（☞17ページ）
きれいに映らない	
画像が二重、三重になる。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ●「セットアップ」メニューで「GR設定」を「入」にしてください（☞50ページ）。 「セットアップ」→「地上アナログ設定」→「GR設定」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3～5年、海辺では1～2年）。
斑点や点模様が走る。	● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	対処のしかた
きれいに映らない	
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質を選んでください（☞27ページ）。 ●「セットアップ」メニューの「画質調整」で、画質を調整してください（☞30ページ）。 「セットアップ」→「画質調整」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ●「消費電力：減」のときは、画面が暗くなります（☞26ページ）。
画面に光る点、または光らない点がある。 輝点・滅点	● フラットパネルテレビの映像は微細な画素の集合です。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合がありますが、故障ではありません。
電源を入れたとき、画面のちらつきやむらが見える。	● 電源を入れたときに画面に「むら」や「ちらつき」が見える場合がありますが、プラズマディスプレイの性質によるものであり、故障ではありません。
画面がまぶしい。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質を選んでください（☞27ページ）。
縞状のノイズが多い。	● 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は、他の電源コードや接続ケーブルから、できるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
画像が乱れる、雑音が混じる。	● 本機の前面や真横に接続した機器を設置していませんか？本機と他機との間隔をあけてください。
ビデオの再生/録画時に縞状のノイズが出る。	● ビデオなどの機器を本機に近付けて設置すると相互干渉でノイズが生じることがあります。30cm以上離して設置してください。 ● 本機の前面や側面に設置するのを避けてください。
AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”などの画像がずれる。	●「セットアップ」メニューの「AVマルチ画面位置」で画面位置を調整してください（☞16ページ）。 「セットアップ」→「各種設定」→「AVマルチ画面位置」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”の画像がきれいに映らない。	●“プレイステーション 2”をAVマルチ入力につないでいるときは、“プレイステーション 2”のコンポーネント出力の設定と本機のAVマルチ（RGBまたはY/C_B/C_R）入力を合わせてください（☞15ページ）。
画面に焼き付きや残像が出る。	●「セットアップ」メニューで「スクリーンセーバー」を設定してください（☞32ページ）。 「セットアップ」→「スクリーンセーバー」→「残像軽減モード」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 しばらくそのままの状態にしておくと、焼き付きや残像が軽減されます。30分後に自動的に通常の画面に戻ります。残像が気になるときは、くり返し「残像軽減モード」を行ってください。
画面表示がずれる/動く。	●「セットアップ」メニューの「スクリーンセーバー」で、「自動表示位置移動」が「入」になっていませんか？（☞32ページ）　画面表示のずれや移動が気になるときは「切」にしてください。お買い上げ時は「自動表示位置移動：入」に設定されています。 「セットアップ」→「スクリーンセーバー」→「自動表示位置移動」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。

症状	対処のしかた
ワイド画面が切り換わる	
オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。	● CMが入ったり、番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適な画面を本機が判断しているためです（☞34、36ページ）。 ● 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞36ページ）。 ● オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的に最適な画面に切り換わります。 ワイド切換ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、「セットアップ」メニューで「オートワイド」を「切」にしてください（☞37ページ）。 「セットアップ」→「画面モード」→「オートワイド」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
画面が切り換わる	
自動で画面が切り換わる。	● プラズマディスプレイの残像対策のため、下記の画面を表示しているときは、無操作が5分続くと、自動で元の入力画面に戻ります。 － CHインデックス － メモ画面

音声について

症状	対処のしかた
音が出ない/雑音が多い	
画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないかを確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。 ●「セットアップ」メニューで「スピーカー」を「入」にしてください。 「切」のときは、本機での音量調節に関係なく、本機のスピーカーから音声が出なくなります。 「セットアップ」→「各種設定」→「スピーカー」→「入」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。
雑音が多い。	● 付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使って、地上波アンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 ●「セットアップ」メニューで「オートステレオ」を「切」にしてください（☞39ページ）。 「セットアップ」→「地上アナログ設定」→「オートステレオ」→「切」を選ぶ。選びかたは☞3ページをご覧ください。 ● 赤外線コードレスヘッドホンなどの赤外線通信機器を本機の近くで使用すると通信障害が発生する場合があります。 赤外線コードレスヘッドホン以外のヘッドホンをご使用ください。また、赤外線ヘッドホン以外の赤外線通信機器をご使用の場合は、ノイズが消える場所まで、赤外線の送受信機器を本機の画面から離すか、赤外線通信機器の送信部と受信部を近づけてご使用ください。
聞きたい音声になっていない。	● 二か国語放送などで、副音声になっていませんか？（☞10ページ）

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	対処のしかた
本機から異音がする	
「ピシッ」というきしみ音が出る。	● 周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
「ブーン」という音がする。	● 本機内部のファンが回っている音です。故障ではありません。 ● 高地など気圧の低い場所（高度約1900m以上、気圧約800hPa以下）で使用すると、プラズマディスプレイパネルの構造上、ブーンという音（バズ音）がしたり、画面が正しく表示されなかったりすることがありますが、故障ではありません。
「サー」という音がする。	● テレビ内部で発生する静電気が原因で、本機に影響はありません。
電源を入れたときに「カチッ」という音がする。	● 電源を入れたときに、内部の回路が働くため音がしますが、故障ではありません。
「ジーッ」という音がする。	● 電源を入れると、駆動音が聞こえることがありますが、故障ではありません。
モーター音や風を切る音がする。	● 本機は内部の温度上昇を抑えるため、冷却ファンを使用しています。本機から冷却ファンの音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

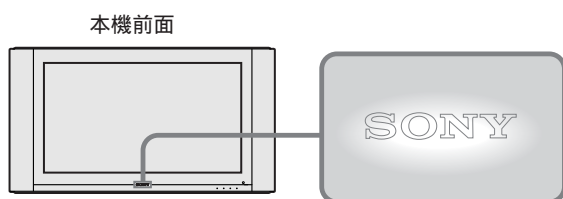
メニューやリモコンについて

症状	対処のしかた
メニューが選べない/表示が消えない	
メニューで選べない項目がある。	● 灰色で表示されている項目は選べません。（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています。）

症状	対処のしかた
リモコンが働かない	
リモコンで本機を操作できない。	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● スタンバイランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンを本機のリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部（☞81ページ）に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具または本機の位置を調整してください。
本機のリモコンで、つないだ機器を操作できない。	● リモコンコードは正しく登録されていますか？（☞18ページ）。 ● コントロールS接続コードをつないでいない機器を操作するときは、リモコンを直接機器に向けてください（☞21ページ）。 ● コントロールS接続コードをつないだ機器を操作するときは、リモコンを本機またはつないだ機器のどちらに向けるかを確認してください（☞24ページ）。つないだ機器に付属しているリモコンを使うときも同じです。
リモコンの①〜⑫の数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	● プリセット登録でチャンネルを設定してください（☞46ページ）。 **ワンタッチ選局の場合** ● 数字ボタンを押す前に、10キーボタンを押していませんか？（☞9ページ） **10キー選局の場合** ● チャンネル表示番号で選局してください（☞48ページ）。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫を押してください。 ● ①〜⑩の数字ボタンに続けて⑫を押してください。

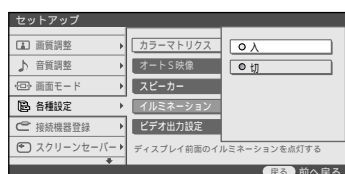
その他

本機前面のソニーマークに光をあてる（イルミネーション）

ディスプレイの画面は、透明なガラスに浮かんでいるようにデザインされています。
このガラスに刻印されているソニーマークは、電光飾（イルミネーション）により浮かび上がったように見せることができます。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **で「セットアップ」を選んで、決定で決定する。**

3 **で「各種設定」を選んで、決定で決定する。**

4 **で「イルミネーション」を選んで、決定で決定する。**

5 **で「切」か「入」を選んで、決定で決定する。**

「切」：電源を入/切するときのみ、ソニーマークに白い光があたります。
「入」：電源が入っているときに、ソニーマークに白い光があたります。

6 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

使用上のご注意

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。
パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますのでご了承ください。

ディスプレイのガラス表面の取り扱いについてのご注意

ディスプレイのガラス表面は反射による映りこみを抑えるため、特殊な表面処理を施しています。
誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、次のことを必ずお守りください。また、ガラス表面は傷つきやすいので固い物などでこすったり、たたいたり、物をぶつけたりしないでください。

ディスプレイのガラス表面のお手入れについてのご注意

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長時間視聴した直後は、ガラス表面が熱くなっていますので、触れないでください。
- ガラス表面は特殊な表面処理をしているので、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- ガラス表面は特殊な表面処理をしているので、なるべくガラス表面に触れないようにしてください。
- ガラス表面の汚れは、付属のクリーニングクロスを使って拭いてください。
- ガラス表面の汚れがひどいときは、付属のクリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭いてください。
- クリーニングクロスにごみが付着したまま強く拭くと、表面を傷つけることがありますのでご注意ください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどは、ガラス表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについてのご注意

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげるなど、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、絶対に使用しないでください。
- クリーニングクロスにごみが付着したまま強く拭くと、表面を傷つけることがありますのでご注意ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
型名：KE-P32TC2、KE-P37TC2
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C63（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
使用スピーカー　フルレンジ 5.5×12cm楕円（2）
音声出力　実用最大出力：15W＋15W（JEITA）
負荷インピーダンス 4Ω

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF　F型コネクター
ビデオ1、2、3入力端子
S2映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
コンポーネント1入力端子
映像：ピンジャック
Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）
P_B/P_R、C_B/C_R：±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
コンポーネント2入力端子
D4映像：
D端子
Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）
P_B/P_R、C_B/C_R：±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AVマルチ入力端子　12ピン
ビデオ出力端子　S2映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力 –12dB時の数値です。
音声出力端子　2ch出力、ピンジャック
最大出力レベル 2.0 Vrms
出力インピーダンス 5 kΩ
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス 16Ω以上
コントロールS入/出力端子
ミニジャック
サブウーファー出力（可変）端子
ピンジャック

電源部・その他

消費電力　KE-P32TC2：247W
KE-P37TC2：314W
消費電力（リモコン待機時）：0.3W
KE-P32TC2、KE-P37TC2共通です。
最大外形寸法　KE-P32TC2
101.2×54.4×11.0cm
KE-P37TC2
113.5×61.7×11.0cm
質量　KE-P32TC2：27.5kg
KE-P37TC2：33.0kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品
- リモートコマンダーRM-J450（1）
- 乾電池　単3形（2）
- アンテナ接続ケーブル（2.5m）（1）
- 電源コード（1）
- 変換プラグアダプター（1）
- アンテナ変換アダプター（1）
- クリーニングクロス（1）
- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 安全のために（1）

別売りアクセサリー

2004年3月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビスタンド	SU-PF2（フローティングスタンド）
	SU-PT2S（KE-P32TC2用：テーブルトップスタンド）
	SU-PT2M（KE-P37TC2用：テーブルトップスタンド）
	SU-PW2（壁掛けユニット）
AVシステムラック	SU-AVHS1
ステレオヘッドホン	MDR-AV305

接続ケーブル、衛星アンテナなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 本機は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
  BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）（☞80ページ）
走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）（☞48、62ページ）
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

ゴースト（☞50ページ）
放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われた、見にくい画面となります。

サ行

三次元Y/C分離回路
本機で使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

識別制御信号（☞37ページ）
識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
– 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）
– D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

シネマビジョン（☞36ページ）
画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

タ行

地上デジタル（☞59ページ）
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタル・リアリティー・クリエーション：マルチファンクション（DRC-MF）（☞28〜29ページ）
地上アナログやビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少ないスッキリとした画像になります。また、映像によって、きめ細かく自然な映像にする「DRC高密度（標準）モード」と、チラツキを抑えた映像にする「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。さらに、本機では、DRC-MFパレットで映像に合った好みの画質に調整できます。

デジタルCS放送（☞60ページ）
110度CSデジタル放送ではなく、スカイパーフェクTV！のことです。
通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

ハ行

ビスタビジョン（☞36ページ）
画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）（☞80ページ）
飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ヤ行

焼き付き（☞32ページ）
同じ画像や画面表示などを一定時間以上、ディスプレイに映したままにしておくと、その部分が変色したり、かすれたりして正常に表示されなくなる現象のことです。

数字・アルファベット順

110度CSデジタル放送（☞59ページ）
2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

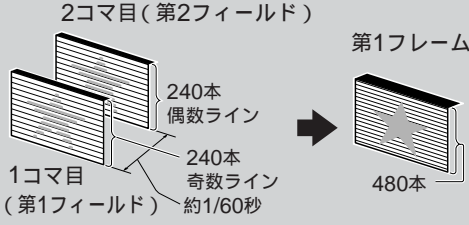
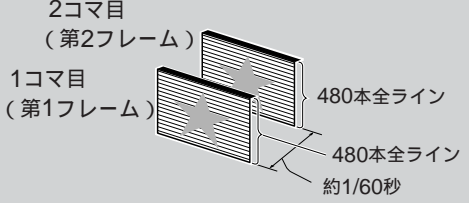
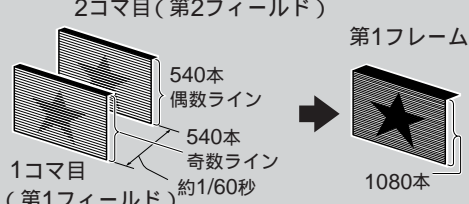
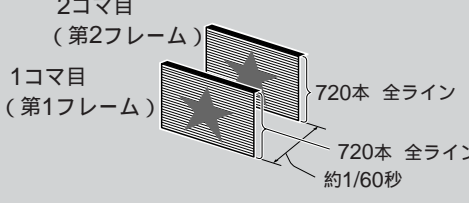
BSデジタル放送（☞59ページ）
2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

D端子（☞53ページ）
地上・BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどのD端子と、1本の映像信号ケーブルで簡単に接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。

本機にはD4入力端子が付いてます。
- D1端子: 525i（480i）の信号に対応
- D2端子: 525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子: 525i（480i）と 525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子: 525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式（ビデオID-1システム）
（☞36ページ）
ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。
本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1〜3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

S2映像端子（S2方式）
（☞36、52、54ページ）
S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比（16:9または4:3）の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。
本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

映像信号フォーマットについて

日本国内の映像信号フォーマット（画像方式）は、走査線数と走査方式によって、以下の4種類があります。

映像信号フォーマット	映像の種類	対応するD端子
525i（480i） 525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。通常のテレビ放送（VHF/UHF）の信号です。 2コマ目（第2フィールド） 240本 偶数ライン 1コマ目（第1フィールド） 240本 奇数ライン 約1/60秒 第1フレーム 480本 **このテレビでは、内蔵の高画質回路［DRC-MF］によって、525iの画像も、きめ細かくて質感のあるリアル高画質で楽しめます。（☞28ページ）**	• 通常のテレビ放送（VHF/UHF） • BSアナログ放送 • ビデオ1～3入力の映像 • AVマルチ入力の映像 • コンポーネント1、2入力*の以下の映像 – デジタル標準テレビ放送（525i） – デジタルCS放送 – DVDプレーヤーの映像	D1端子 D2端子 D3端子 **D4端子**
525p（480p） 525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。 2コマ目（第2フレーム） 1コマ目（第1フレーム） 480本全ライン 480本全ライン 約1/60秒	• コンポーネント1、2入力*のデジタル標準テレビ放送（525p） • コンポーネント1、2入力*のDVDプレーヤーの映像（プログレッシブ出力映像）	D2端子 D3端子 **D4端子**
1125i（1080i） 1125本（1080本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。 2コマ目（第2フィールド） 540本 偶数ライン 1コマ目（第1フィールド） 540本 奇数ライン 約1/60秒 第1フレーム 1080本 現行のハイビジョン放送は、有効走査線数が1035本です。	• コンポーネント1、2入力*のデジタルハイビジョン放送（1125i） • コンポーネント1、2入力*のハイビジョン放送（ベースバンド）の映像	D3端子 **D4端子**
750p（720p） 750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。このテレビでは、750pの映像信号を1125iの映像信号に変換します。 2コマ目（第2フレーム） 1コマ目（第1フレーム） 720本 全ライン 720本 全ライン 約1/60秒	• コンポーネント1、2入力*のデジタルハイビジョン放送（750p）	**D4端子**

（　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。また、iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。

つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。特に、デジタルチューナーの出力設定については、デジタルチューナー側の取扱説明書をご覧ください。

* コンポーネント2入力はD端子からの映像です。

走査線
テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

有効走査線数
走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。従来のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン（HD）放送では、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

D端子（コンポーネント2入力）
地上・BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーなどのD端子と、1本の映像信号ケーブルで簡単に接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
このテレビにはD4入力端子（コンポーネント2入力）が付いています。

各部のなまえ

Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel

「セットアップ」メニューで「イルミネーション」を「入」にすると白い光があたります（☞74ページ）。「セットアップ」→「各種設定」→「イルミネーション」→「入」を選ぶ。選びかたについては☞3ページをご覧ください。

リモコン受光部
☞24ページ
Remote Control sensor page 24

消画　オフタイマー　スタンバイ　電源

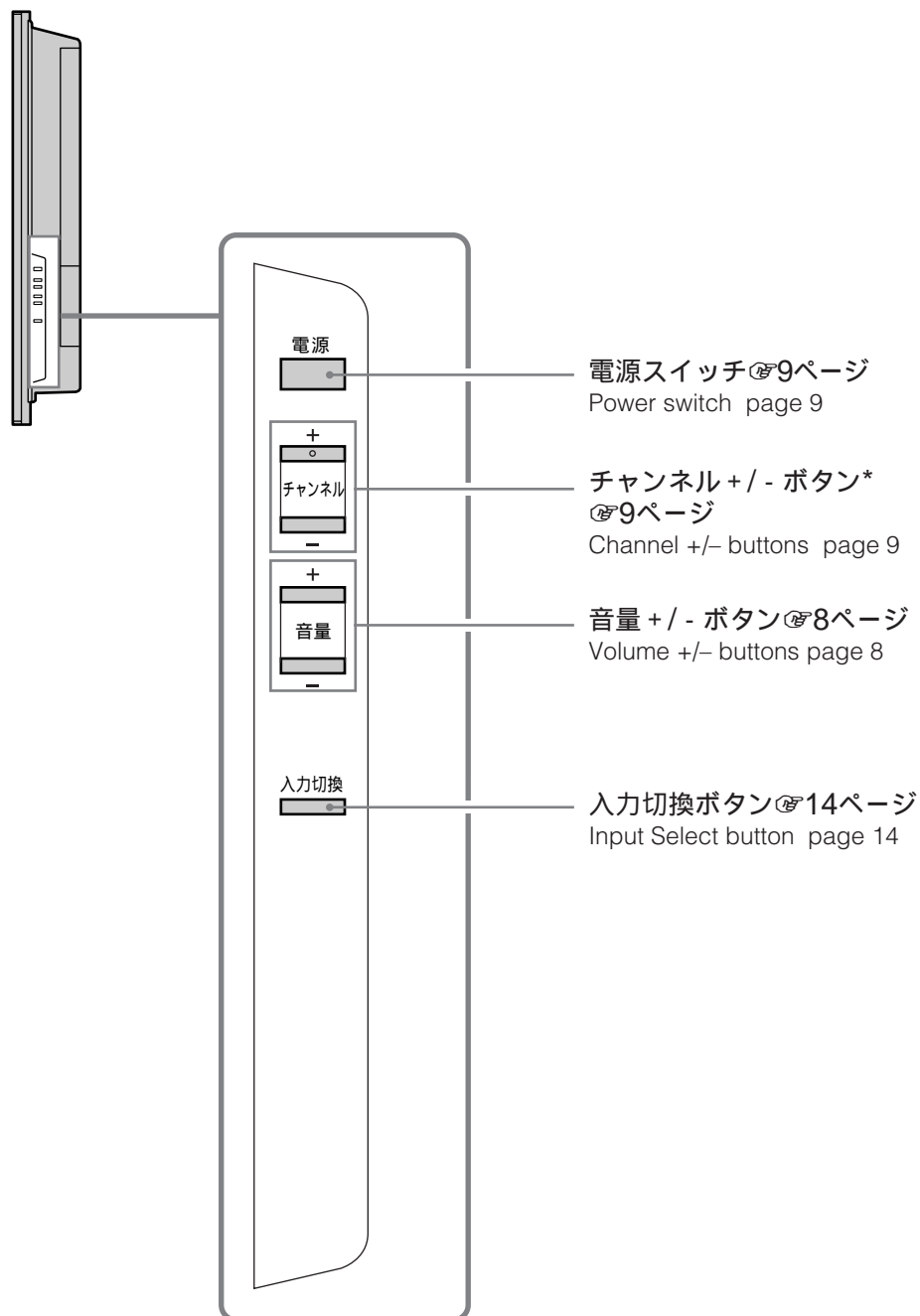
消画ランプ
☞26ページ
Picture Vanish indicator page 26

スタンバイランプ
☞9、68ページ
Standby indicator pages 9, 68

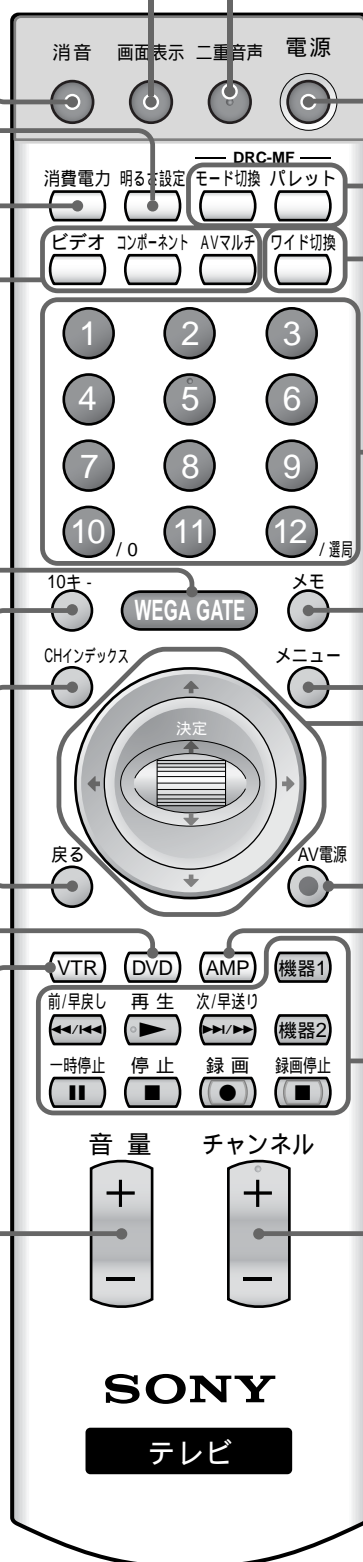
オフタイマーランプ
☞9ページ
Off Timer indicator page 9

電源ランプ
☞9ページ
Power indicator page 9

その他

本機左側面/TV Right Side Panel

ちょっと一言
*の付いたボタン（チャンネル＋ボタン）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

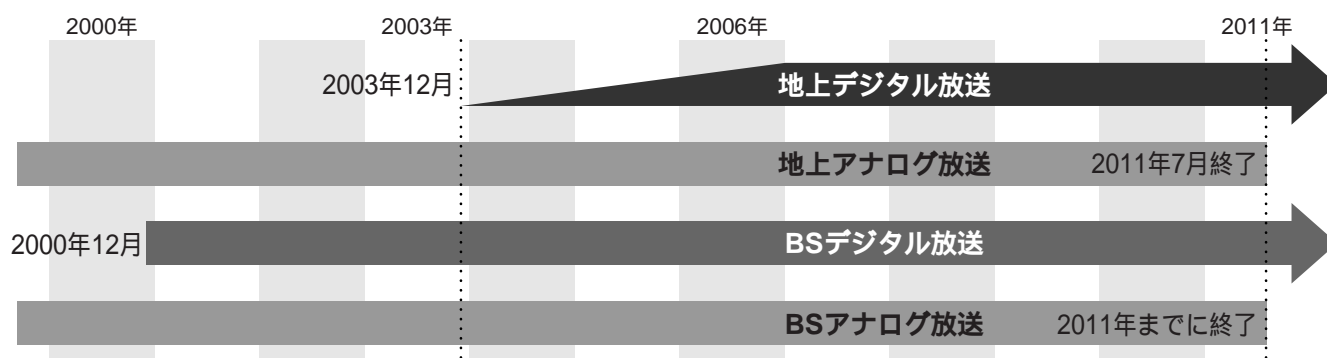
リモコン/Remote Control

ちょっと一言
＊ の付いたボタン（数字ボタン の「5」、二重音声ボタン、他機器再生ボタン、チャンネル＋ボタン）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

その他

アナログ放送からデジタル放送への移行について

アナログ放送からデジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

※ 2003年9月現在の情報です。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や横縦比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。
なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

※ デジタル放送チャンネルに対応した受信アンテナが必要です。
※ ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信するには専用のホームターミナル（アダプター）が必要になる場合があります。
詳しくは、加入しているCATV会社にお問い合わせください。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Japan